

(4) 調査の実施

ア 調査票の配布

調査は、11月19日(日)に実施した。当日の天候は、午前は曇り、午後は雨であり、雨天時には調査票を受け取ってもらいにくい状況もみられた。結果、調査票の配布枚数は17,679枚(予定配布枚数20,000枚に対する比率: 88%)であった。

配布率が80%に満たなかった配布箇所(但し、太秦映画村を除く)10箇所については、11月25日(土)に残った調査票を配布した。当日の天候は晴後曇で、予定配布枚数1,958枚全てを配布した。

両日の配布枚数の総計は19,637枚である(同: 98%)。



図 2-7 配布状況(11/19, 平安神宮)



図 2-6 配布状況(11/19, 鞍馬寺)



図 2-8 配布状況(11/25, 龍安寺)

イ 調査票の回収

調査票は郵送回収した。回収総数は3,456枚で、回収率は18%となった。配布箇所別の回収率は下表の通りである。

表 2-1 調査票の回収状況

配布箇所	A 予定配布数 (枚)	B 実配布数(枚)		B/A 配布率	C 回収数 (枚)	C/B 回収率	
		11/19(日) 雨一時曇	11/25(土) 晴後曇				
1 清水寺	1,000	1,000	1,000	-	100%	147	15%
2 渡月橋	850	850	623	227	100%	147	17%
3 平安神宮	500	500	500	-	100%	92	18%
4 金閣寺	650	650	400	250	100%	138	21%
5 銀閣寺	600	600	600	-	100%	118	20%
6 二条城	500	500	500	-	100%	77	15%
7 御所	500	415	415	-	83%	64	15%
8 南禅寺	550	550	550	-	100%	89	16%
9 三十三間堂	500	500	500	-	100%	106	21%
10 大覚寺	500	500	500	-	100%	159	32%
11 三千院	500	500	500	-	100%	100	20%
12 龍安寺	500	500	202	298	100%	93	19%
13 仁和寺	500	500	500	-	100%	82	16%
14 太秦映画村	500	222	222	-	44%	13	6%
15 鞍馬寺	500	500	500	-	100%	70	14%
16 東本願寺	500	500	347	153	100%	95	19%
17 西本願寺	500	500	284	216	100%	105	21%
18 醍醐寺	500	500	257	243	100%	137	27%
19 東寺	500	500	427	73	100%	93	19%
20 上賀茂神社	500	500	308	192	100%	135	27%
21 下鴨神社	500	500	378	122	100%	143	29%
22 苔寺(鈴虫寺)	500	500	500	-	100%	72	14%
23 高山寺	500	500	316	184	100%	133	27%
24 高台寺	500	500	500	-	100%	85	17%
25 八坂神社	500	500	500	-	100%	58	12%
26 伏見稲荷大社	500	445	445	-	89%	64	14%
27 東福寺	500	555	555	-	111%	79	14%
28 四条大橋	650	650	650	-	100%	63	10%
29 河原町三条	500	500	500	-	100%	49	10%
30 JR京都駅(新幹線改札口)	800	800	800	-	100%	143	18%
31 JR京都駅(在来線改札口)	1,600	1,600	1,600	-	100%	227	14%
32 JR二条駅	200	200	200	-	100%	21	11%
33 京阪出町柳駅	400	400	400	-	100%	97	24%
34 阪急烏丸駅	400	400	400	-	100%	62	16%
35 京福四条大宮駅	800	800	800	-	100%	100	13%
計	20,000	19,637	17,679	1,958	98%	3,456	18%

(5) 基礎集計結果

ア 回答者の個人属性

(ア) 年齢、性

問 20．性別と年齢をお答えください。

「女」が多く（53.8%）,「男」は3割程度である（33.2%）。

「50 歳代」（29.4%）,「60 歳代」（19.8%）が多く、両年代をあわせるとほぼ半分を占める。

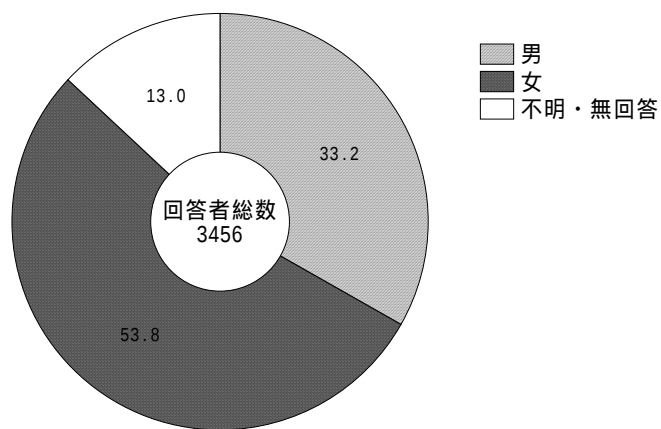


図 2-9 性別

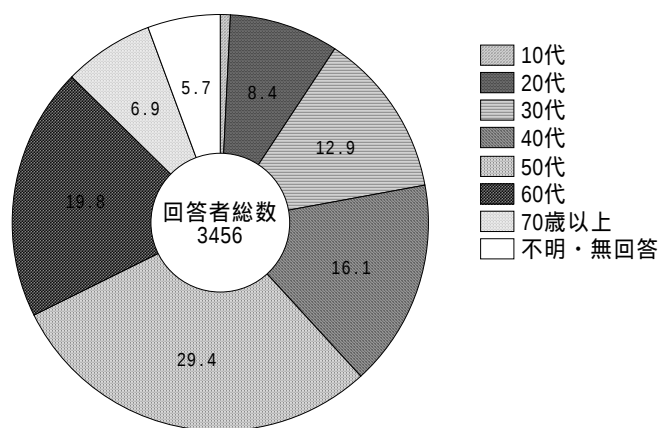


図 2-10 年齢

(イ) 職業

問 21 . 職業をお答えください。

「会社員」が最も多く (28.9%) , ついで「主婦」が多い (19.1%) ,

「10 歳代」は「学生」(92.9%) , 「20 歳代」～「40 歳代」は「会社員」(40%～60%) ,

「70 歳以上」は「無職・退職者」(55.4%) が多い。

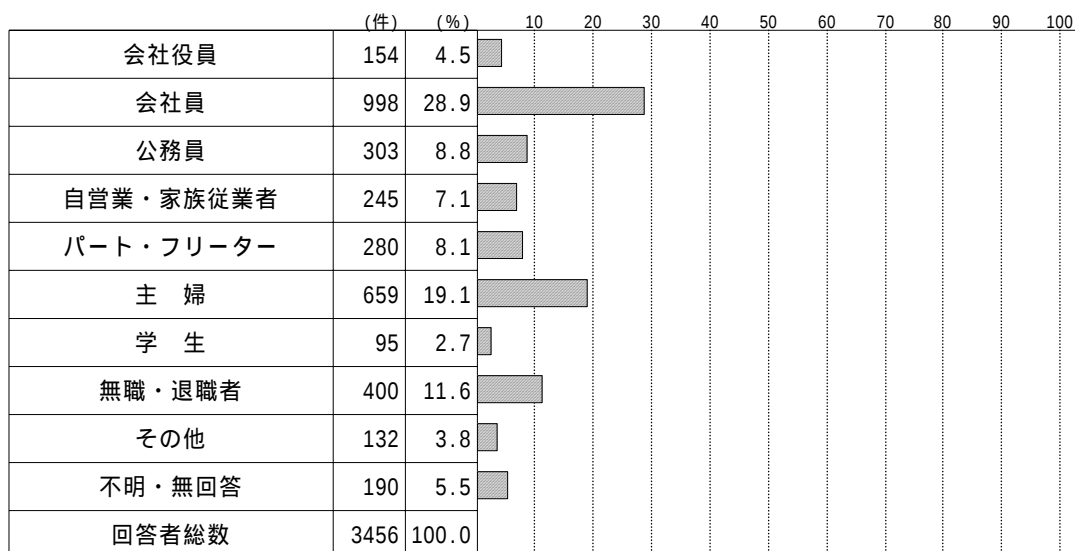


図 2-11 職業

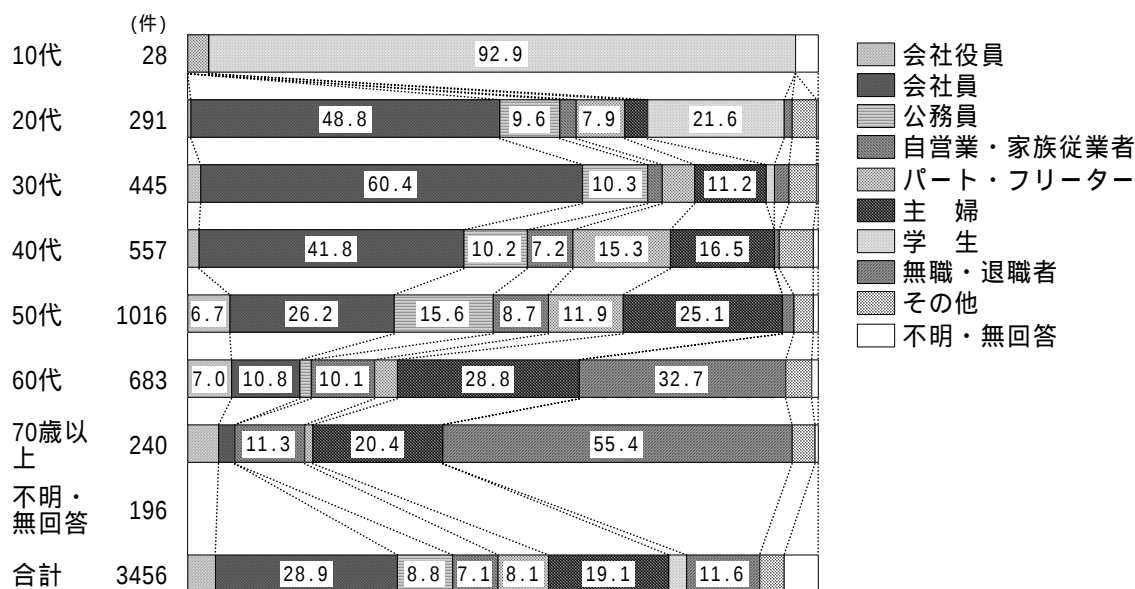


図 2-12 年齢×職業

(ウ) 住所

問 22．お住まいをお答えください。

住所は、「近畿」が最も多いが(33.1%)、他地域では「関東」(28.6%)、「東海」(12.8%)が多い。

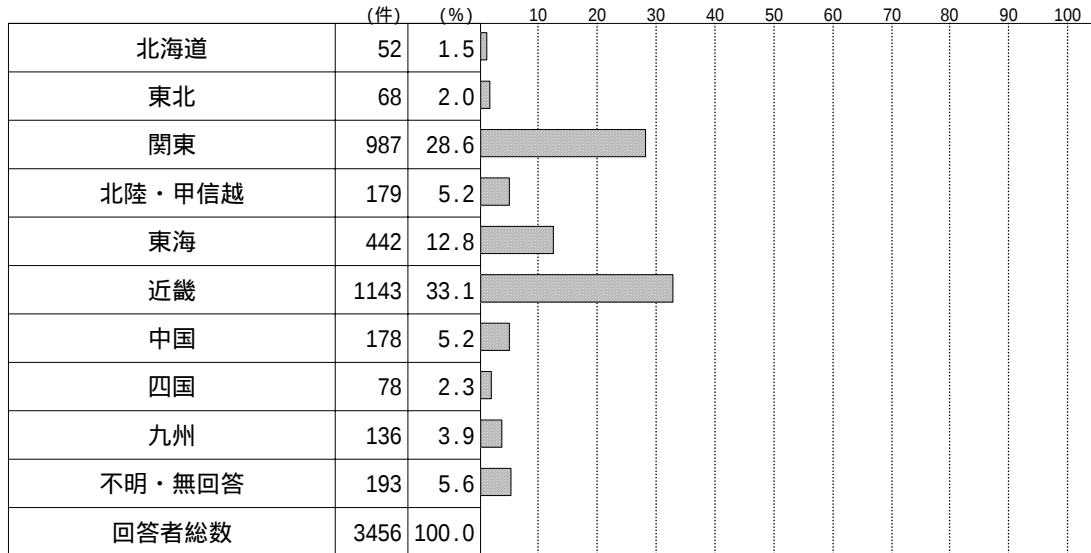


図 2-13 住所

(I) 自動車運転状況

問 23．日常の自動車の運転状況をお答え下さい。

「毎日運転する」が最も多い(36.7%)。

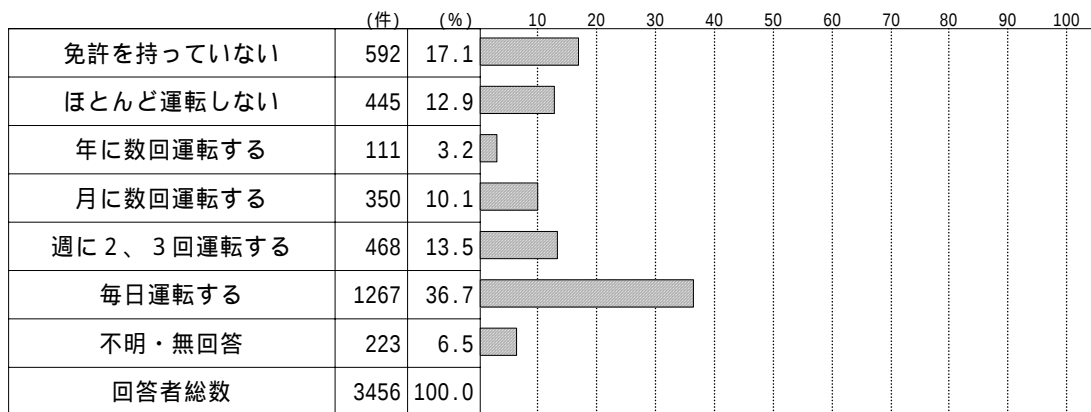


図 2-14 日常の運転状況

イ 観光の計画, 準備

(ア) 京都への訪問意向

問 1. 今回, どれくらい京都に行きたいと思っていましたか。

「絶対に京都に行きたかった」が最も多いが(38.8%), 「たまたま京都に行くことになった」も2割に上る(22.8%)。

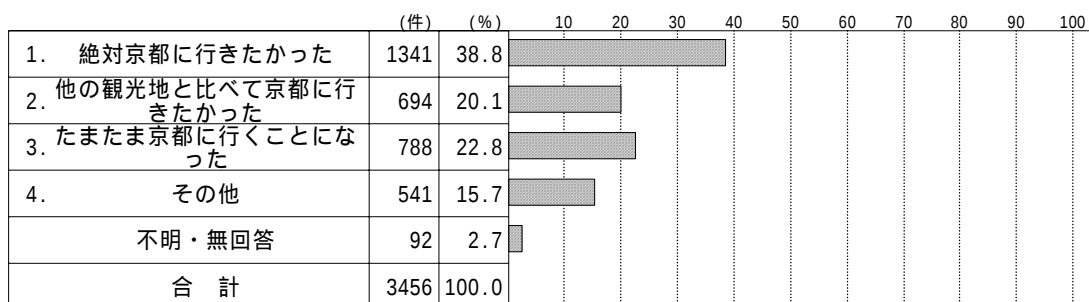


図 2-15 京都への訪問意向

(イ) 参考にした情報(あてはまるもの全て回答)

問 2. 今回, 具体的な訪問地や宿泊施設を決めるときに参考にした資料を全てお選び下さい。

参考にした資料は, 「観光雑誌」が最も多い(40.6%)。

また, 「何も調べていない」も1割に上る(10.7%)。

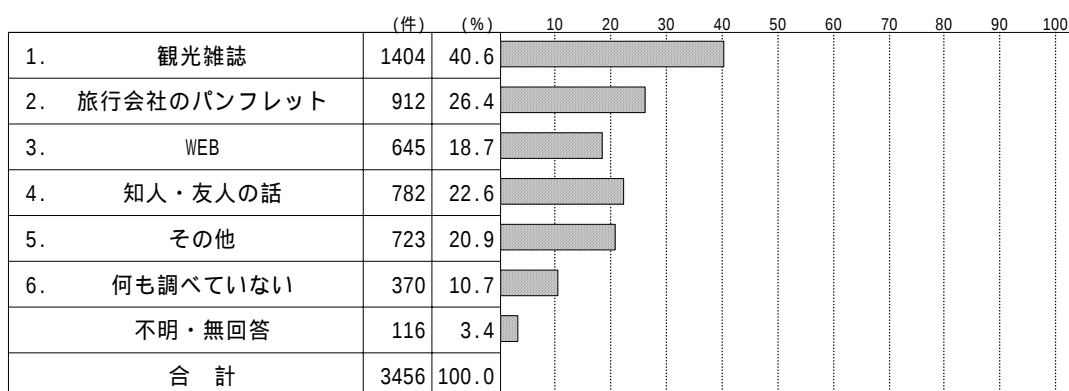


図 2-16 参考にした情報(複数回答)

総体的に「観光雑誌」から情報を得る人が多く、「10 歳代」を除くと若年層ほど参考にする媒体が多い傾向にある。

若年層では「WEB」や「知人・友人の話」が比較的多く、高齢層では「旅行会社のパンフレット」が比較的多い。

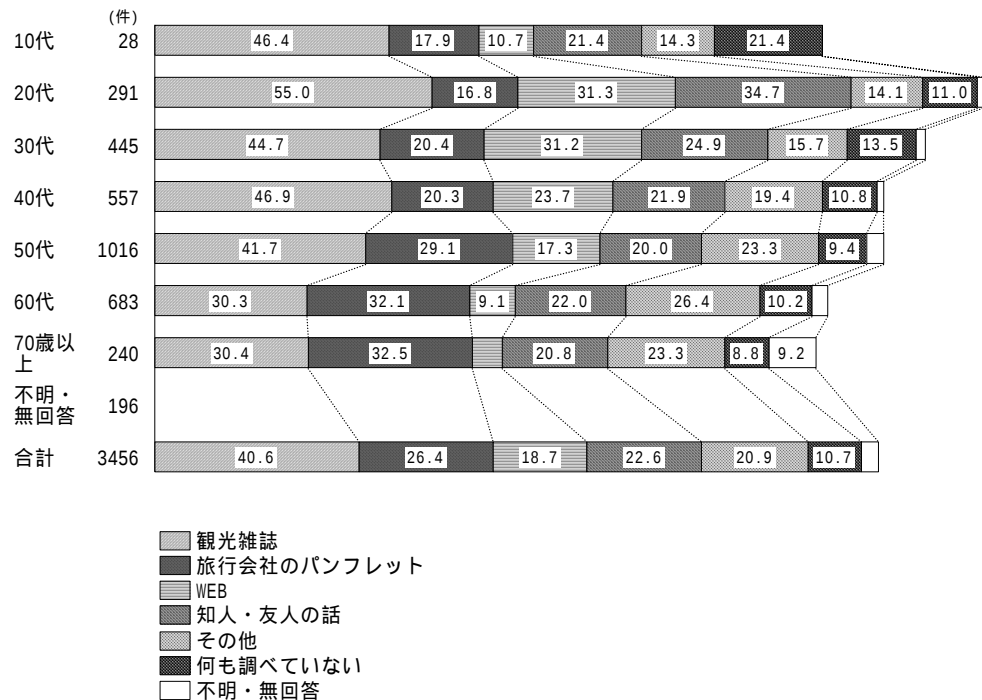


図 2-17 年齢×参考にした情報(複数回答)

「絶対に京都に行きたかった」など、京都観光に積極的な人ほど、多くの媒体を参考にする傾向がある。

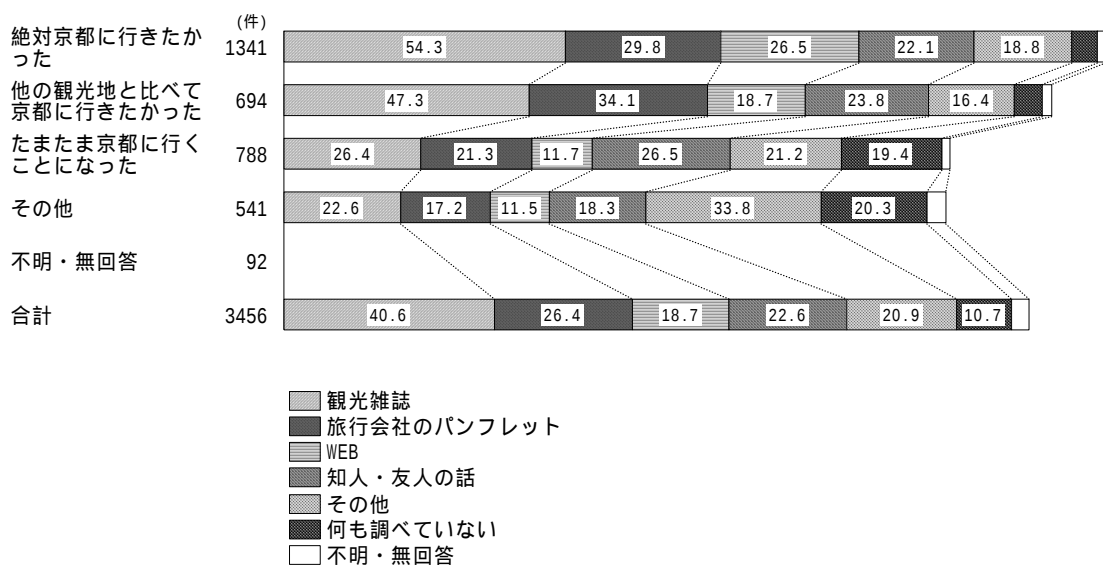


図 2-18 京都への訪問意向×参考にした情報(複数回答)

また，訪問経験が少ないほど参考にする情報媒体が少ない。

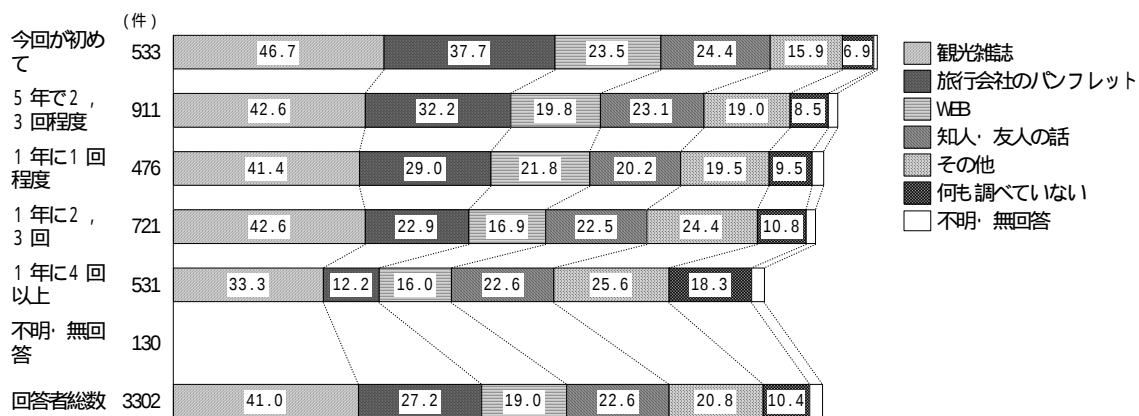


図 2-19 京都への訪問経験 × 参考にした情報 (複数回答)

(ウ) 予算

問3. 今回の観光で、出発前に予算をどのように考えましたか。

「具体的には決めていなかったが、安上がりにしたかった」が最も多く(37.1%), 次いで「全く考えていない」が多い(20.5%)。

職業別では、「会社役員」で「具体的には決めていなかったが、たくさん使おうと思った」が多い(18.8%) のが特徴的である。

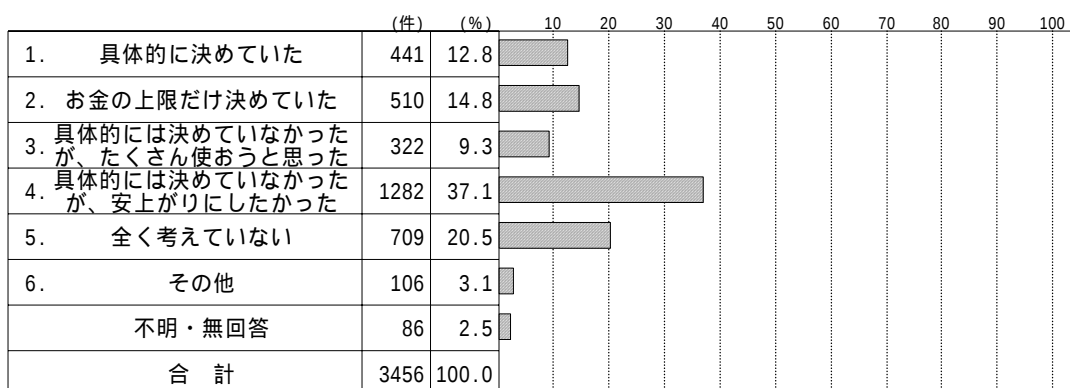


図 2-20 予算の考え方

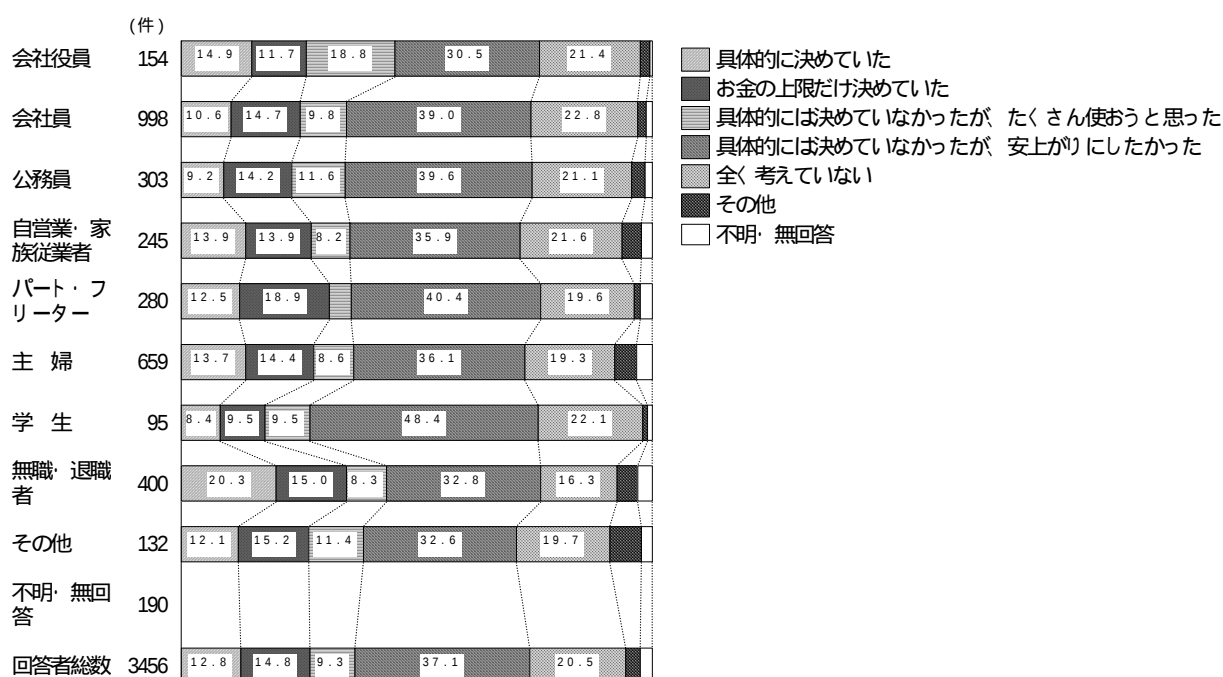


図 2-21 職業×予算の考え方

ウ 観光の概要

(ア) グループ属性

問 4 . 今回の観光には誰と一緒に来られましたか。

「夫婦・恋人の二人」(29.1%) , 「友人・知人・会社の同僚」(26.3%) , 「家族・親戚」(24.5%) がそれぞれ 25%程度で大きな偏りはない。

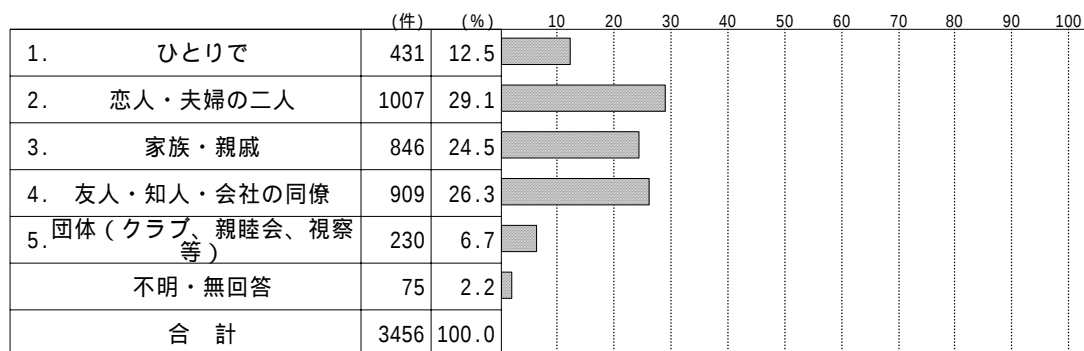


図 2-22 グループ属性

(イ) グループ人数

副問 1 . 一緒に来られた方の年齢別の人数をお答えください(ご自分を含めてお答えください。)

「2 人」が最も多く (32.9%) , 次いで「3 人」が多く (21.1%) , あわせると半数を超える。

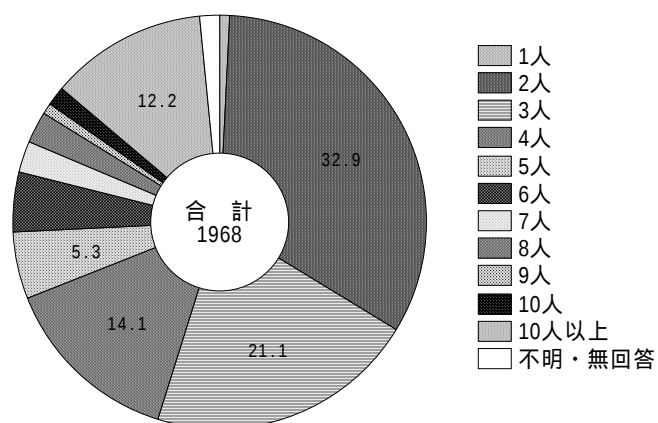


図 2-23 グループの人数

小学生以下の子供をつれているグループは1割程度である。一方、65歳以上の高齢者のいるグループは約35%である。

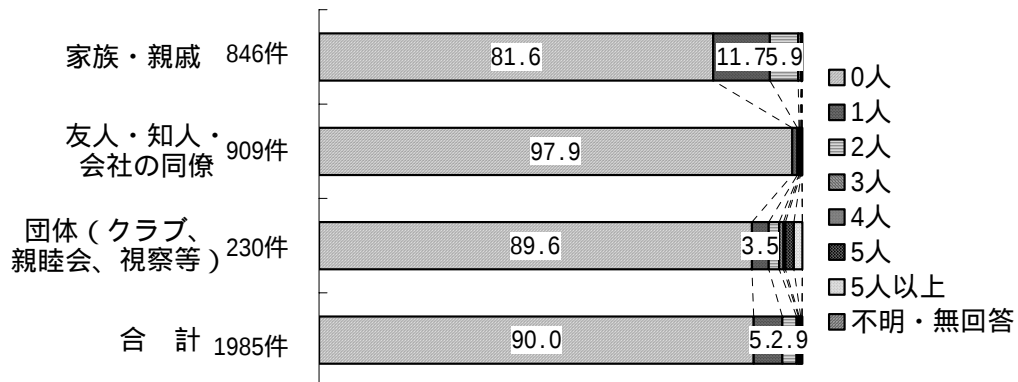


図 2-24 グループ属性×小学生以下の人数

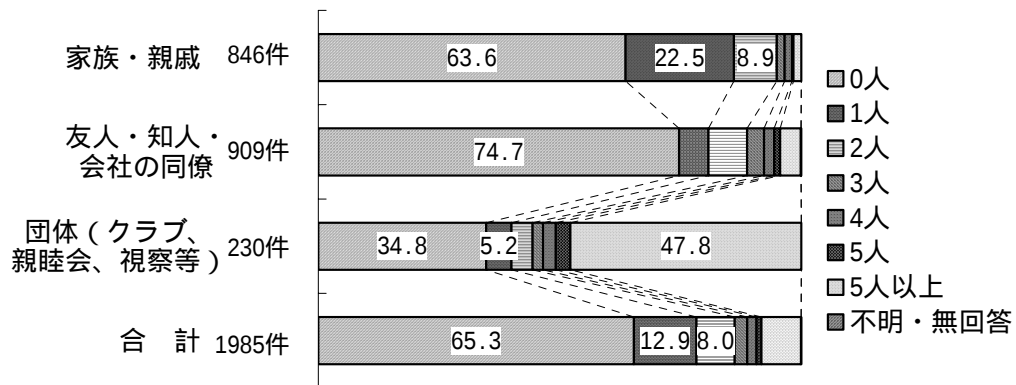


図 2-25 グループ属性×65歳以上の人数

(ウ) 観光目的

問5. 今回の京都観光の目的を3つ以内でお選び下さい。

「名所・寺社見物」(76.8%)と「紅葉狩り」(74.6%)を目的とするグループが非常に多い。その他では、「グルメ(京料理等)」(22.3%),「自然鑑賞」(12.6%)が比較的多い。

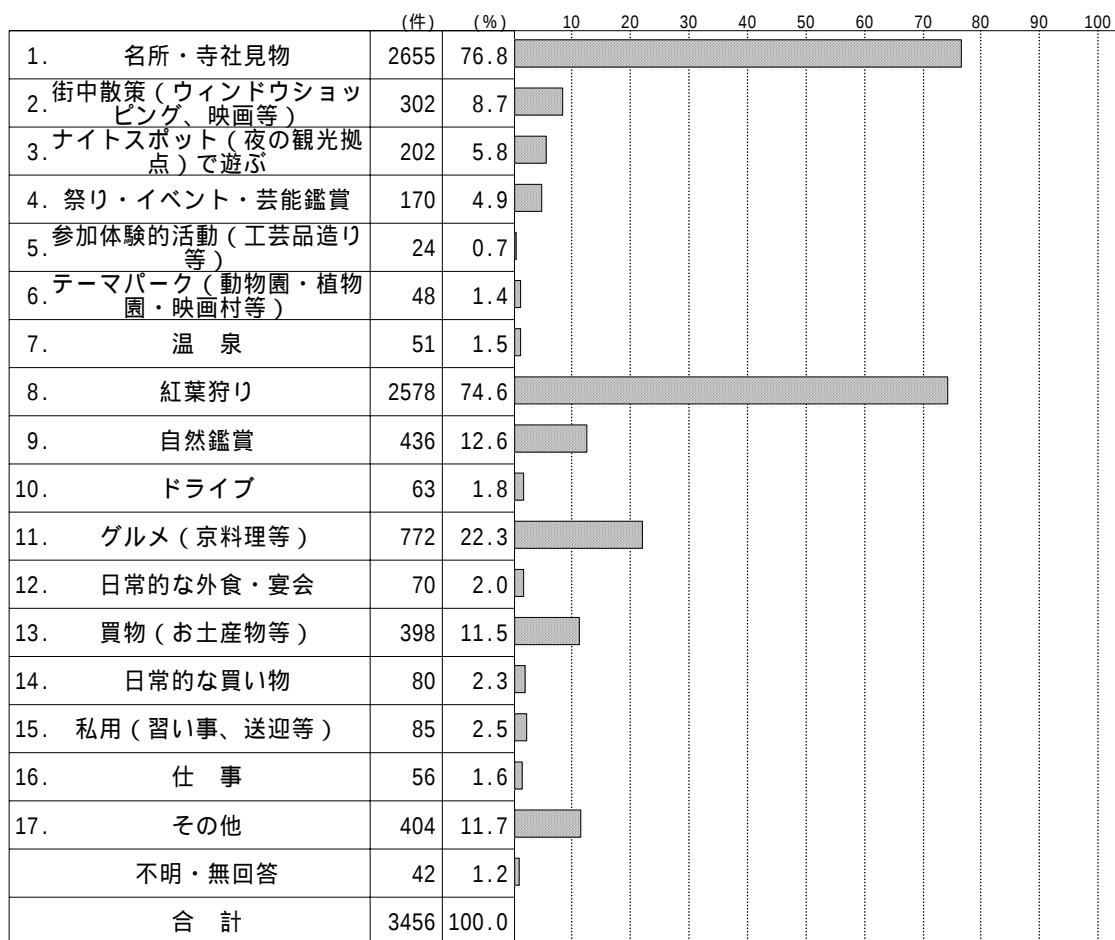


図 2-26 観光目的(複数回答)

どの年齢層でも観光目的に大きな違いはないが、若年層ほど「名所・寺社見物」、「街中散策（ウィンドウショッピング、映画等）」が多く、高齢層ほど「紅葉狩り」、「自然鑑賞」が多い傾向にある。

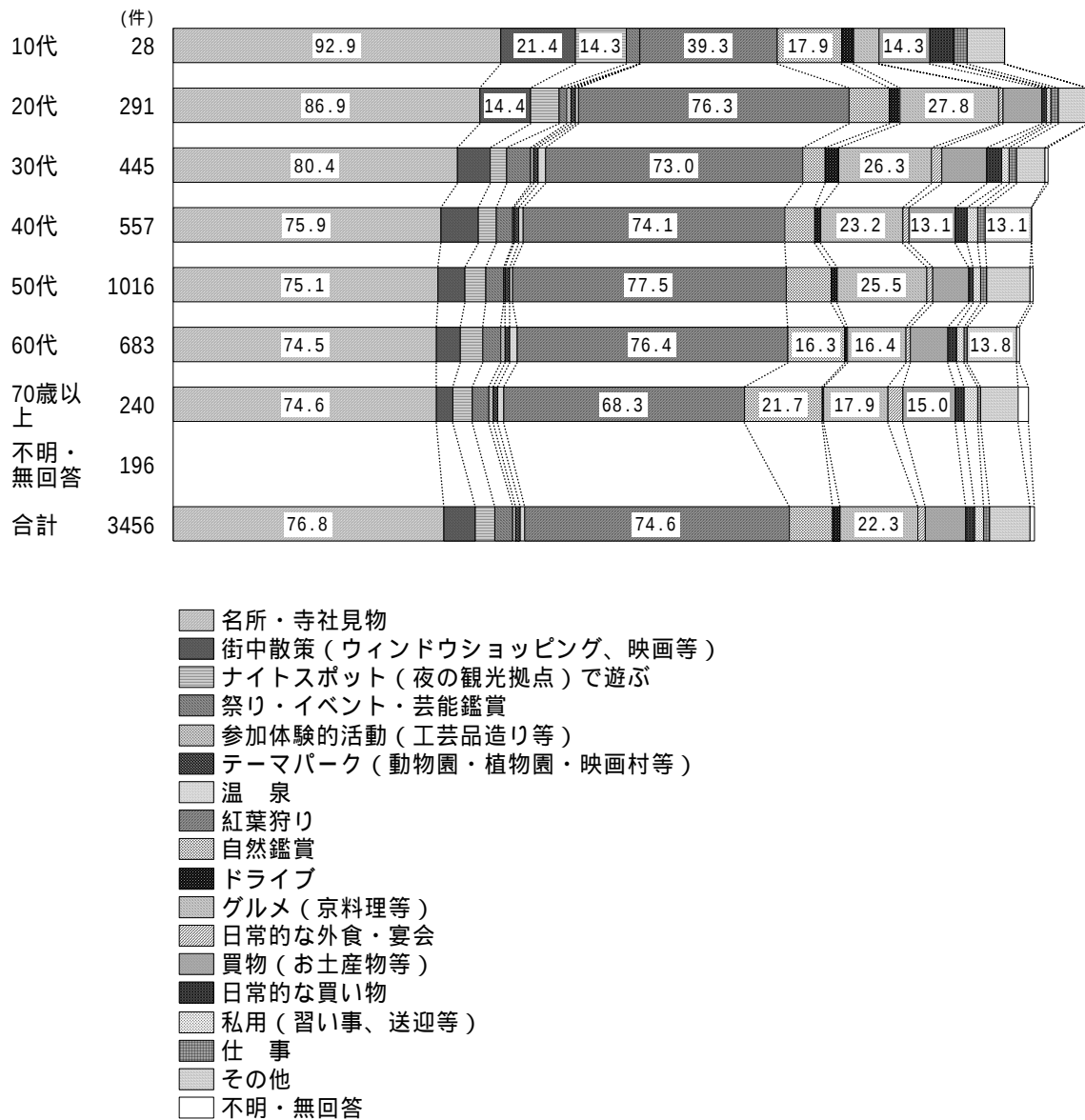


図 2-27 年齢層×観光目的(複数回答)

訪問経験が少ないほど「名所，寺社見物」，「紅葉狩り」が多く，一方，訪問経験が多いほど「街中散策」，「グルメ」，「その他私用」が多い。

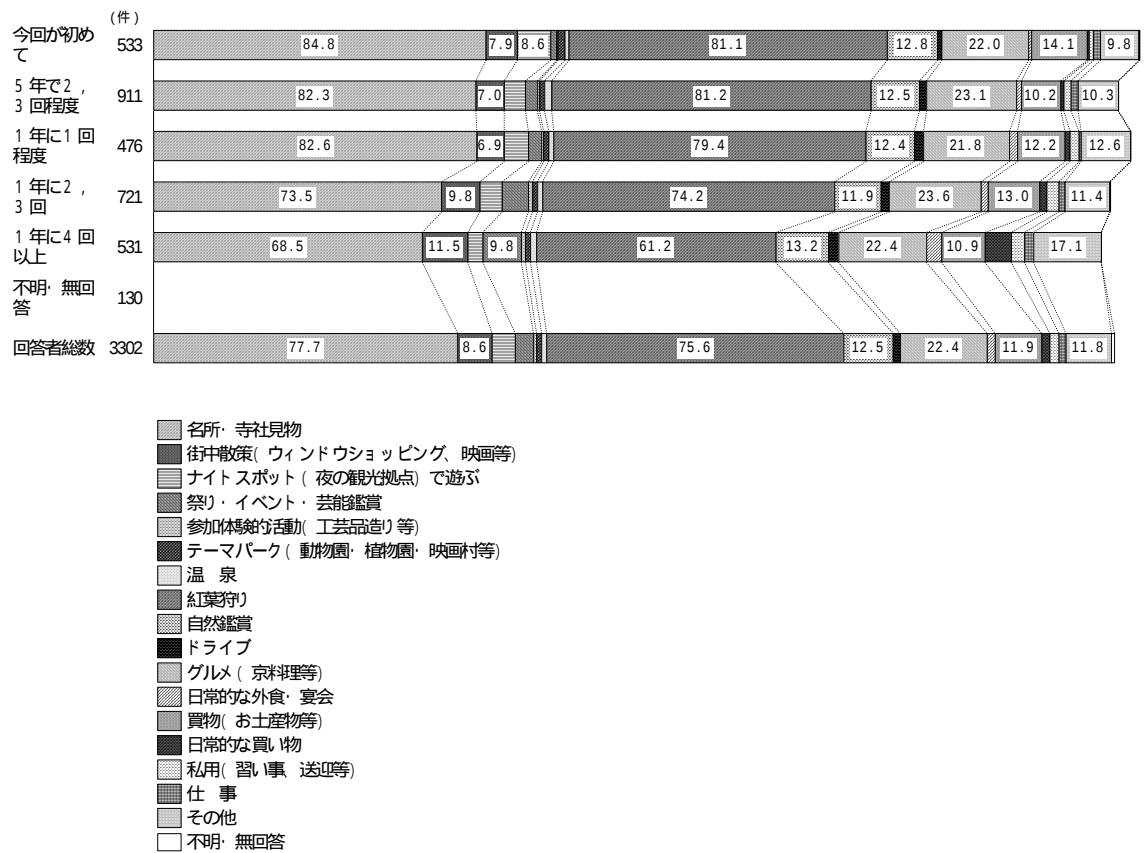


図 2-28 京都への訪問経験×観光目的(複数回答)

(I) カーナビ利用（京都市内の移動で「自家用車」「レンタカー」利用者のみ）

問 6．今回の京都市内の移動で自動車（自家用車・レンタカー）を利用された方のみ
お答え下さい。カーナビを利用しましたか？

カーナビの利用は市内観光に自動車を利用したグループの 5 割程度である。

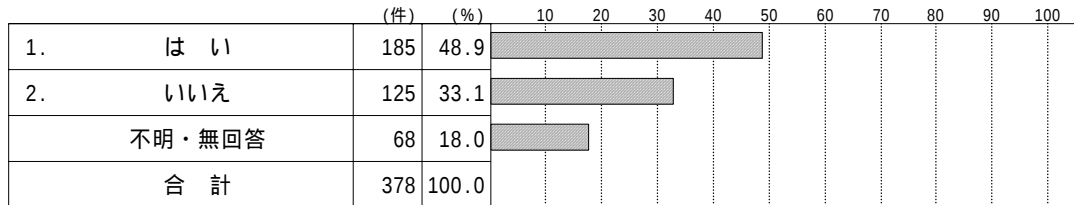


図 2-29 カーナビの利用状況

I 京都までの移動（京都市外に住んでいる方のみ）

(ア) 交通手段（あてはまるもの全て回答）

問 7．京都市までの移動に利用した交通手段を全てお選び下さい。

「JR 新幹線」(37.4%) , 「JR 在来線」(32.3%) , 「その他私鉄」(28.6%) の鉄道が多く ,
「自家用車」は 16.1% である。

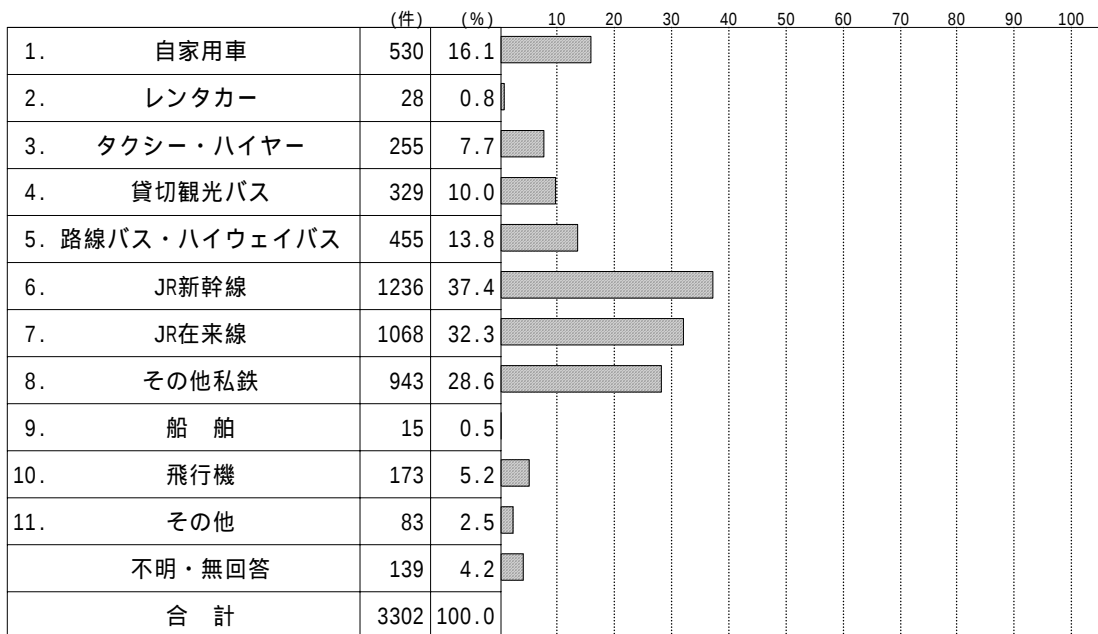


図 2-30 京都市までの交通手段（複数回答）

「近畿」居住者では、「その他私鉄」(51.5%)、「JR在来線」(38.2%)が多い。

「関東」、「東海」、「九州」、「中国」居住者では「新幹線」が多い。

「自家用車」の利用が多いのは、「北陸・甲信越」(30.3%)、「東海」(25.6)である。

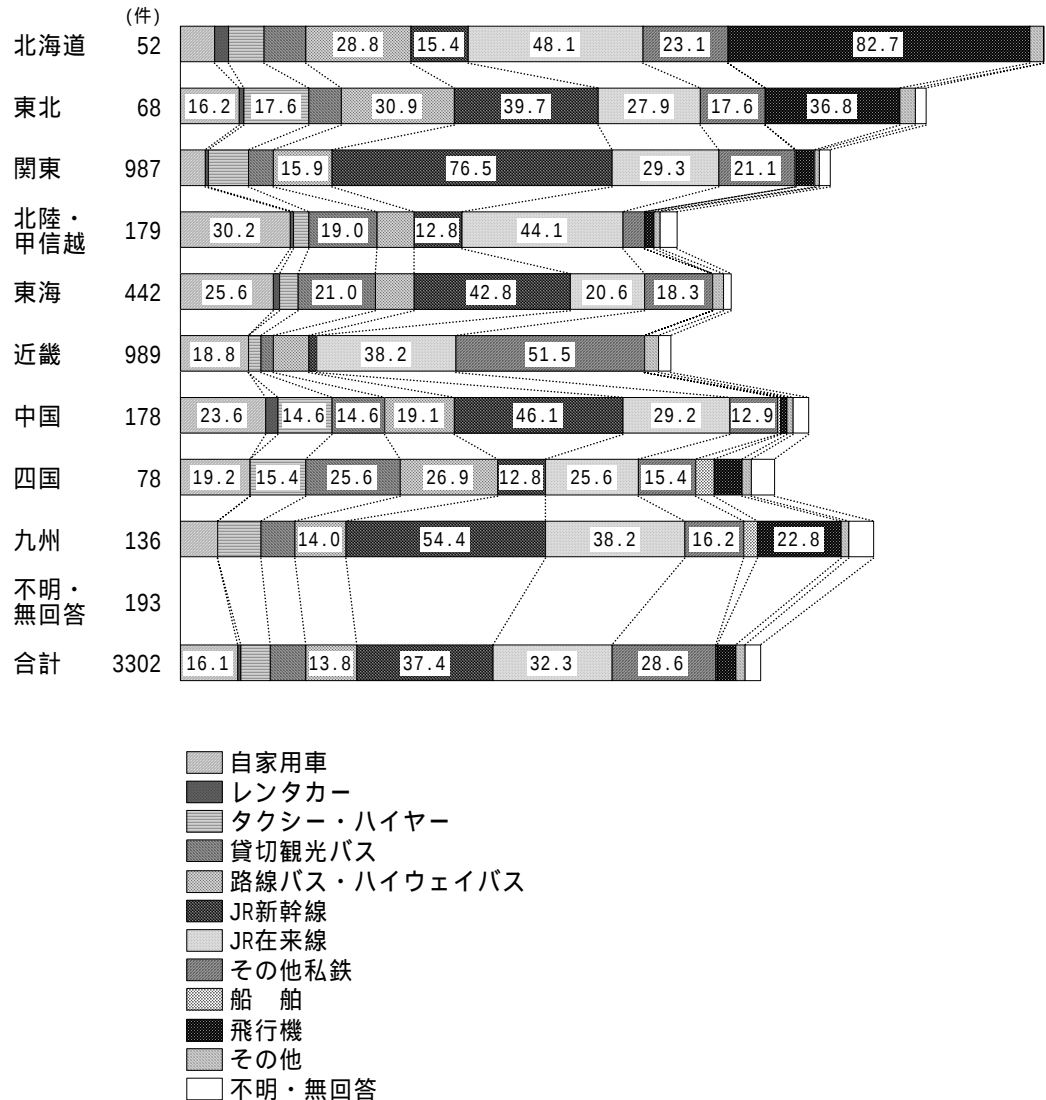


図 2-31 住所×京都市までの交通手段(複数回答)

(イ) ETC 利用(京都までの交通手段が「自家用車」「レンタカー」の方のみ)

副問1. ETC を利用しましたか。

ETC を利用した(「はい」)グループは37.3%である。

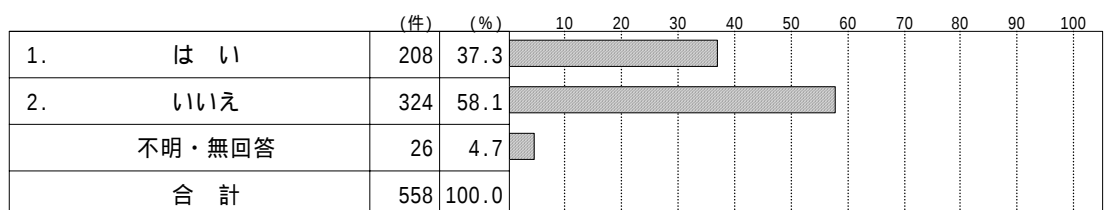


図 2-32 ETC の利用状況

(ウ) 京都への訪問経験

問 8 . この 5 年間で京都市に観光で何回程度こられましたか。

約 8 割がリピーターであり，1 年に 1 回以上（「1 年に 1 回程度」，「1 年に 2，3 回」，「1 年に 4 回以上」の合計）は半数を超える。

リピーターが多いのは，「近畿」居住者の他，「四国」，「東海」居住者である。

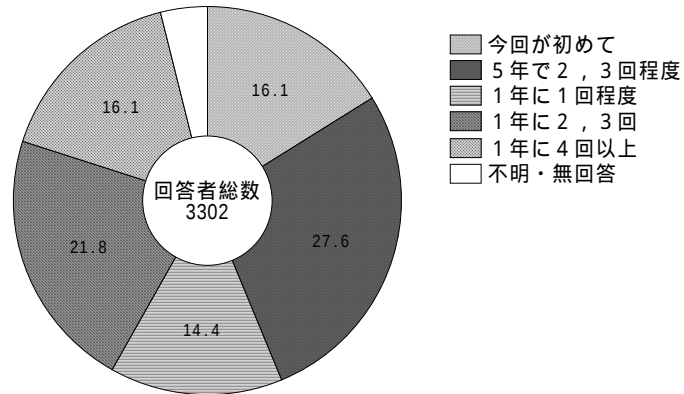


図 2-33 京都への訪問経験

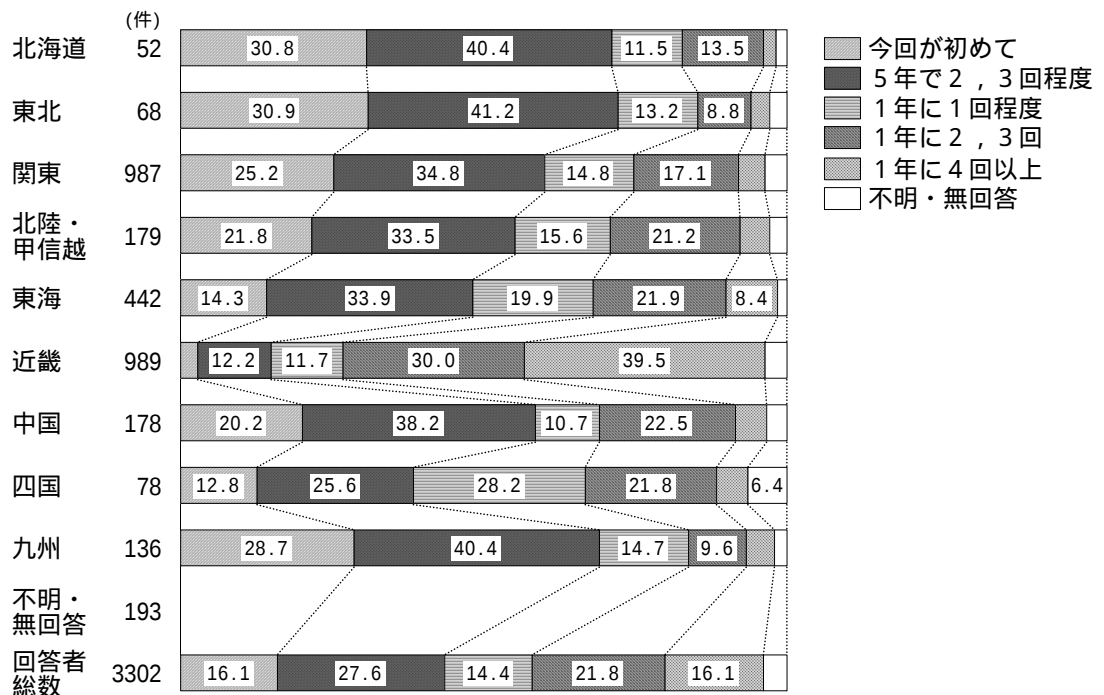


図 2-34 住所×京都への訪問経験

(I) 観光の日程

問 9 . 今回の観光はどのような日程ですか。

「日帰り」が最も多く (41.5%) , 「1泊2日」が次に多い (30.0%) ,

遠方ほど宿泊率が高く , 宿泊日数も長い傾向にある。

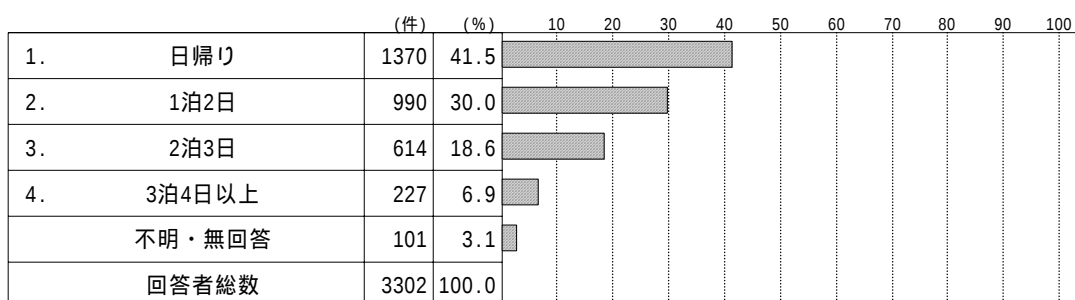


図 2-35 旅行日程

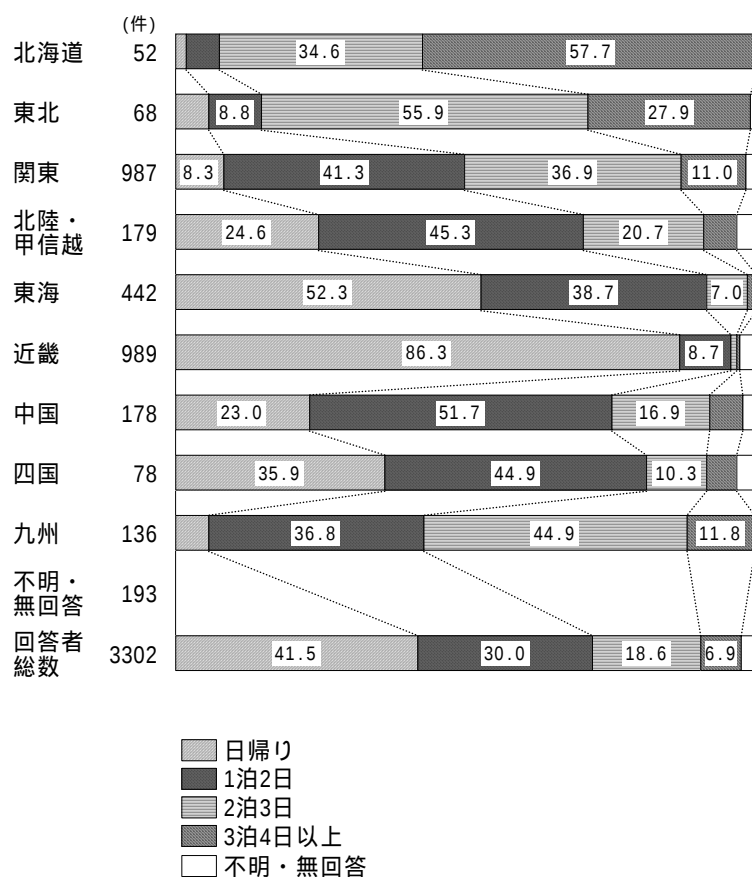


図 2-36 住所×旅行日程

(オ) 宿泊場所（宿泊された方のみ）

副問 1. 今回の観光で宿泊された場所を全てお選び下さい。

宿泊場所は、京都市内が最も多く（73.1%）、次いで「大阪府内」が多い（18.2%）。

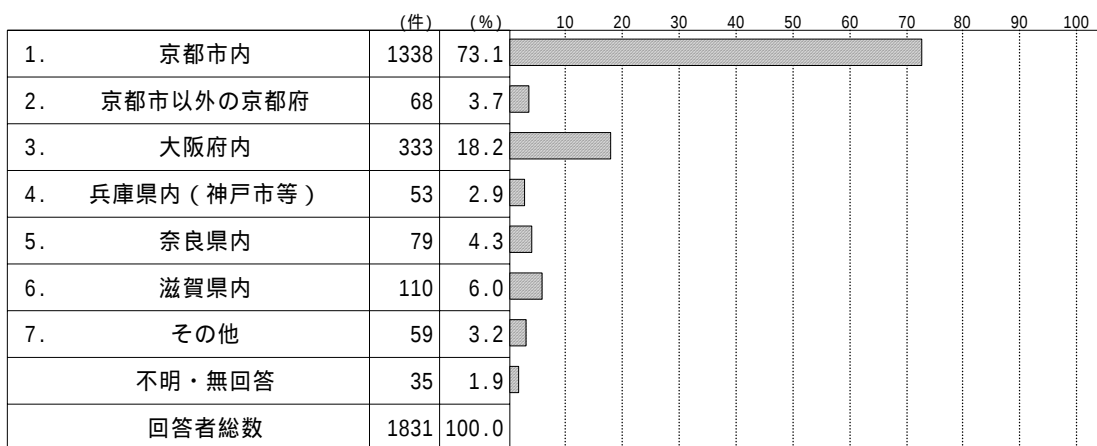


図 2-37 宿泊場所

(カ) 調査票を受け取った日（宿泊された方のみ）

副問 2. この調査票を受け取られた日は、宿泊観光の何日目ですか。

日曜日に調査票を配布したことから、「2日目」が多い（52.3%）。

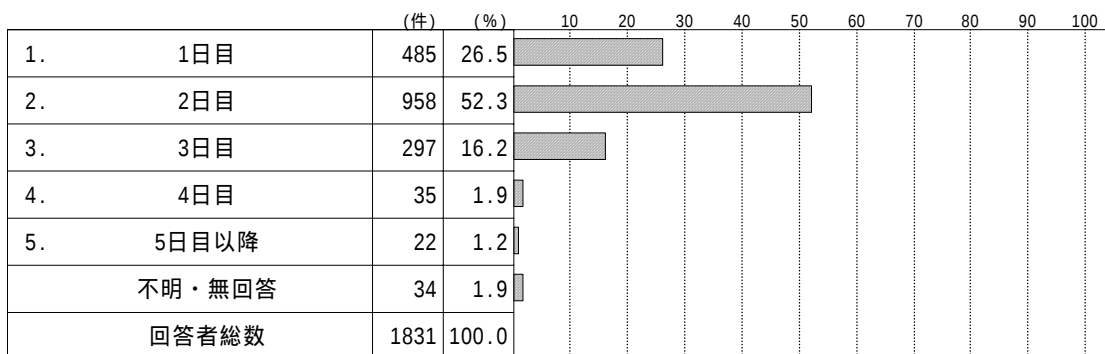


図 2-38 調査票を受け取った日

オ 移動と消費

(ア) 移動経路

問 10．調査票を受け取られた日（以下，本日と記す）の，移動された経路についてお尋ねします。

本設問は，回答者に 1 日の移動を思い出してもらうために設定したものであり，集計は行わない。

(イ) 京都観光の入口

問 11．本日の京都観光の出発地と出発時刻についてお尋ねします。

「京都市内の宿泊施設」(20%)，「JR 京都駅（新幹線）」(18%)，「JR 京都駅（在来線）」(13%)が多い。

宿泊客は，「JR 京都駅（新幹線）」，「JR 京都駅（在来線）」が多く，一方，日帰り客では「阪急駅」などの民鉄が多い。

道路では，名神高速道路の IC の利用が多い。

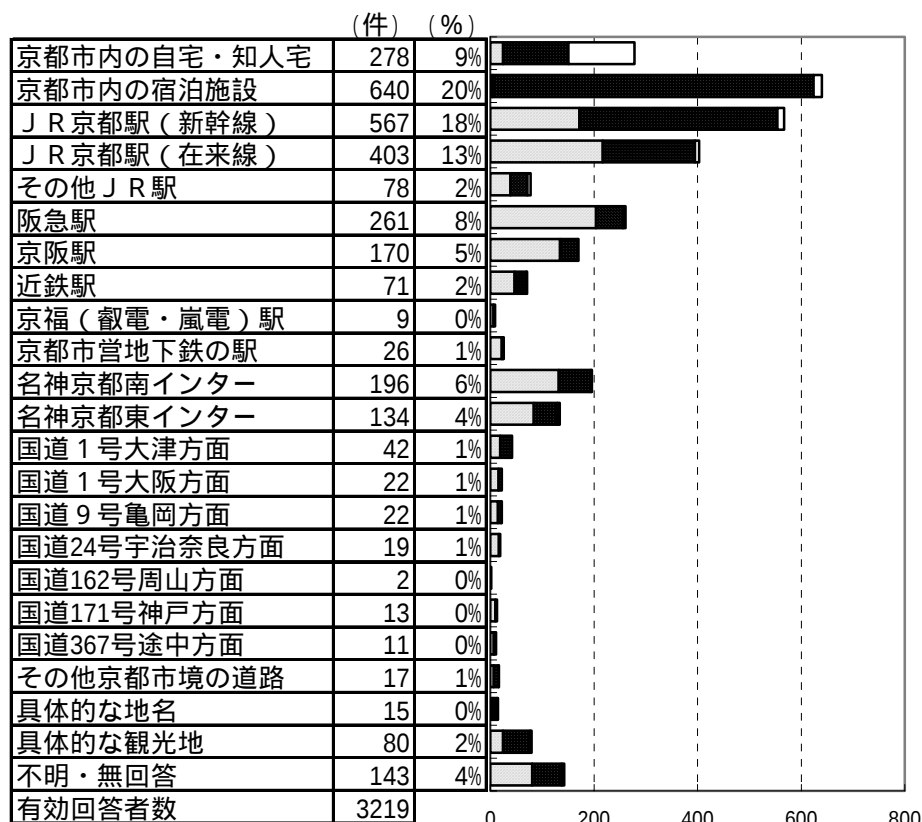


図 2-39 京都観光の入口

出発地の出発時刻は、「9 時台」(24%)、「10 時台」(22%)が多く、あわせると約半数を占める。

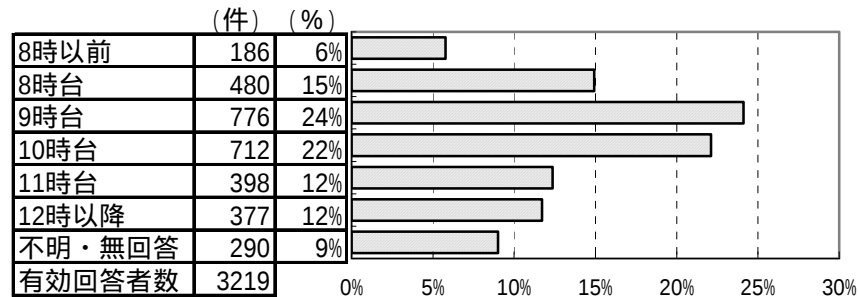


図 2-40 京都観光の出発時間

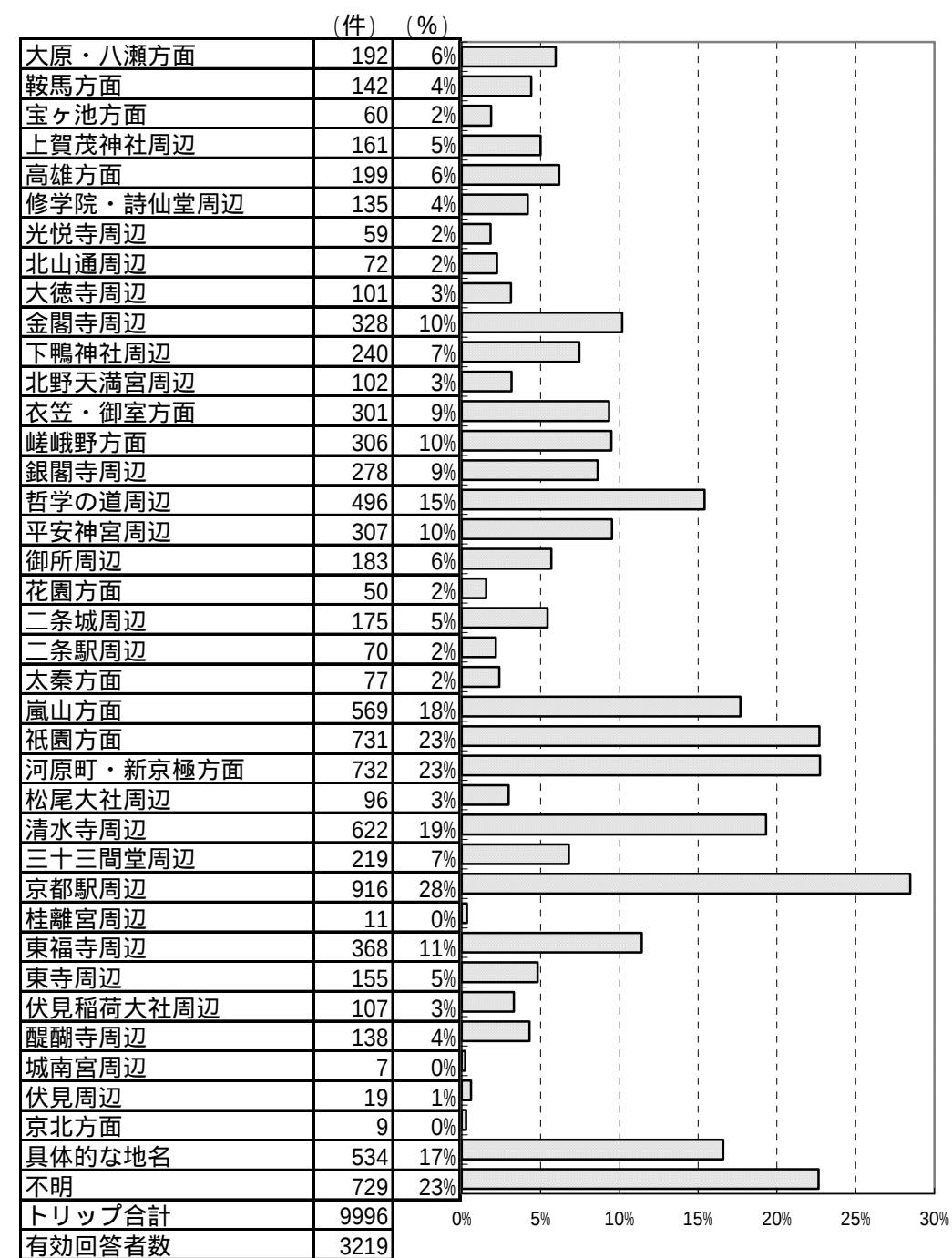
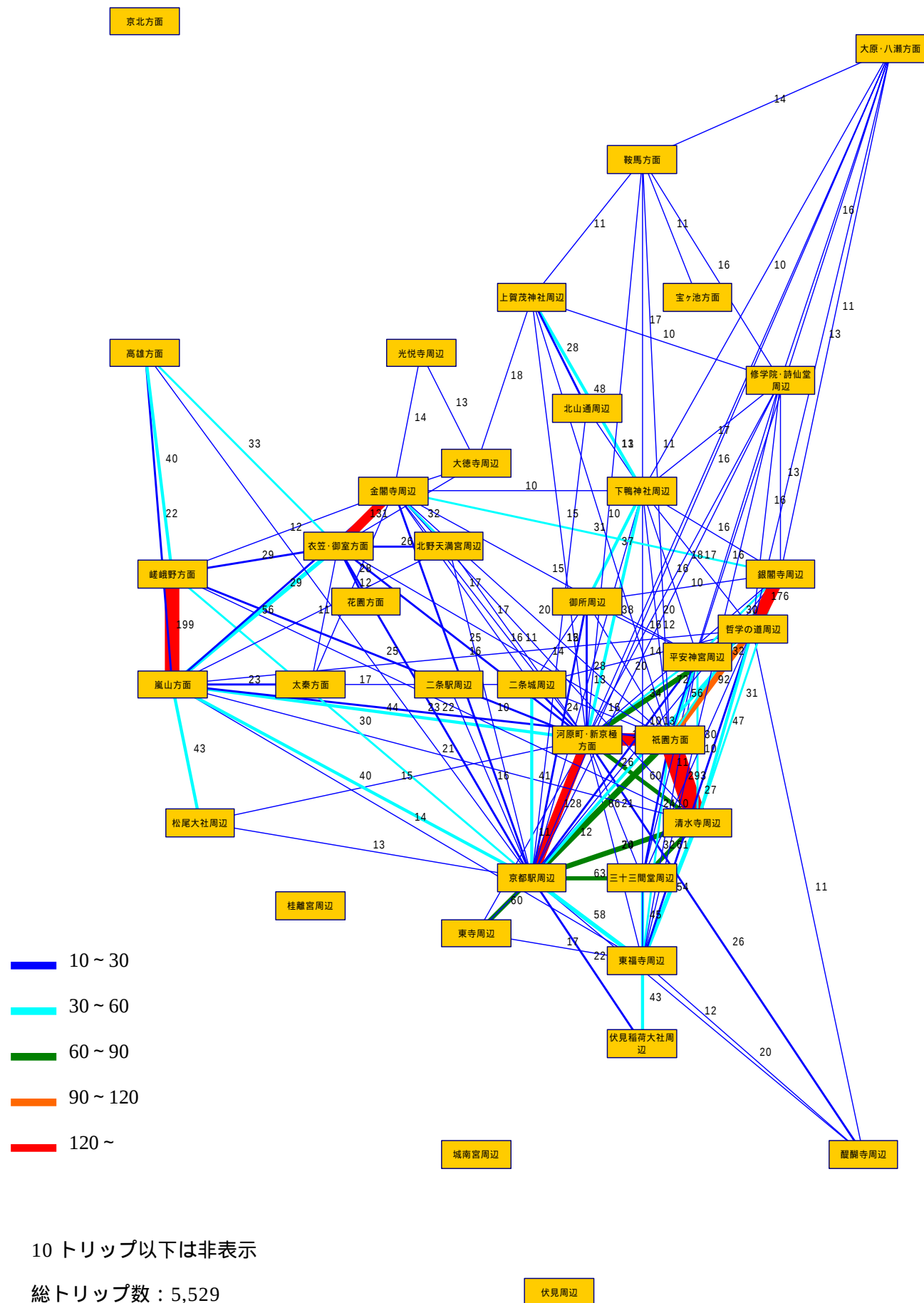
(ウ) 立ち寄り場所と消費行動

問 12. 本日、立ち寄られた場所と時刻、使われたお金についてお尋ねします。

a 立ち寄り場所

立ち寄り場所は、「京都駅周辺」が28%と最も多く、次いで「祇園周辺」(23%)、「河原町・新京極周辺」(23%)、「清水寺周辺」(19%)、「嵐山周辺」(18%)が多い。

観光地間の移動が多いのは、銀閣寺～京都駅にかけての地域と、嵐山・嵯峨野にかけての地域であり、「京都駅周辺」、「河原町・新京極方面」、「祇園方面」、「嵐山方面」を中心とした移動構造となっている。



各観光地への移動時間，そこでの滞在時間，そこから次の観光地等への移動時間を見た。滞在時間は1時間から1時間半程度の観光地が多い。

また，「大原，八瀬方面」，「鞍馬方面」，「高雄方面」，「醍醐寺周辺」など郊外に位置する観光地で，移動時間も滞在時間も長い傾向がある。

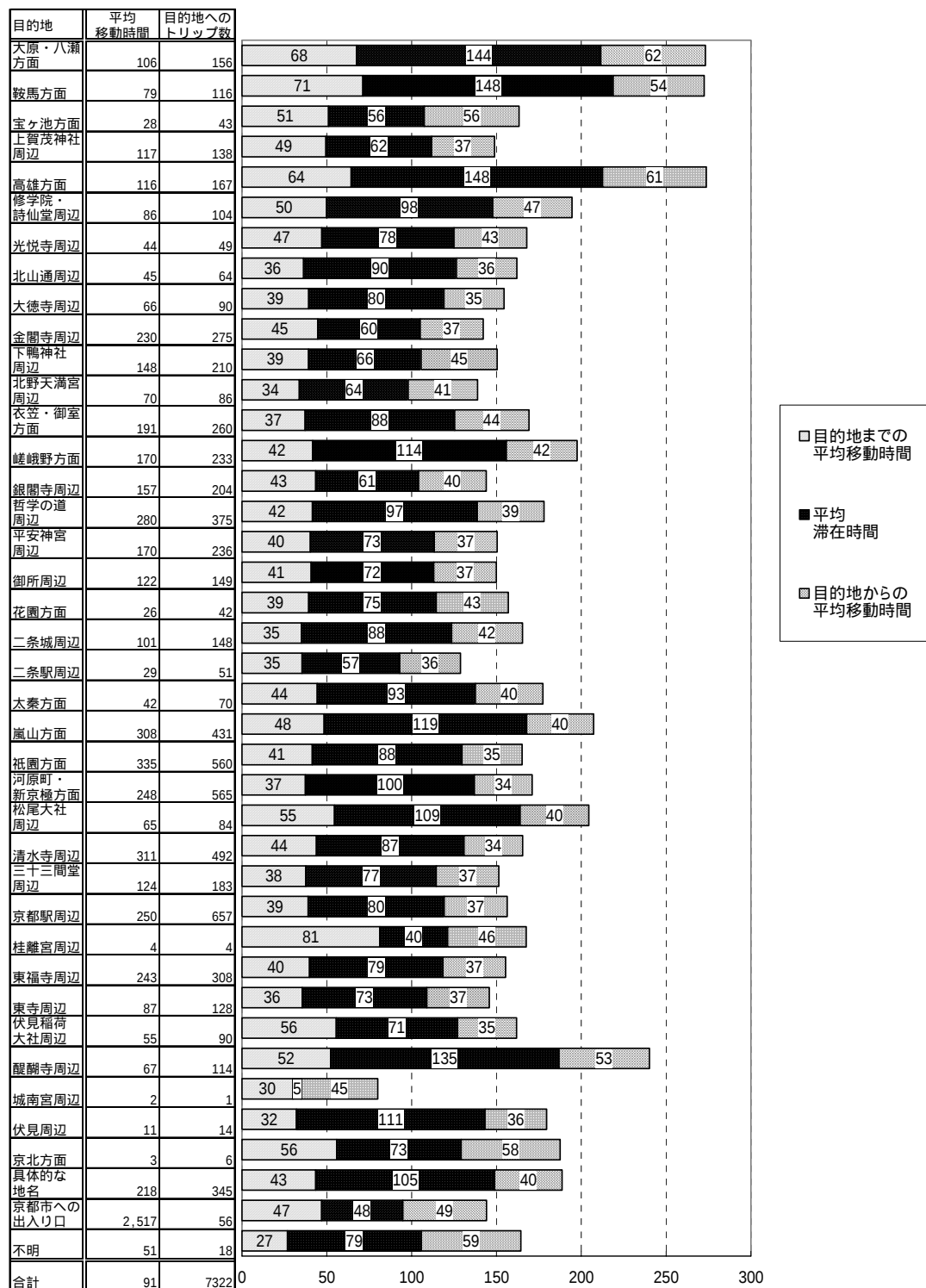


図 2-43 平均移動時間と平均滞在時間

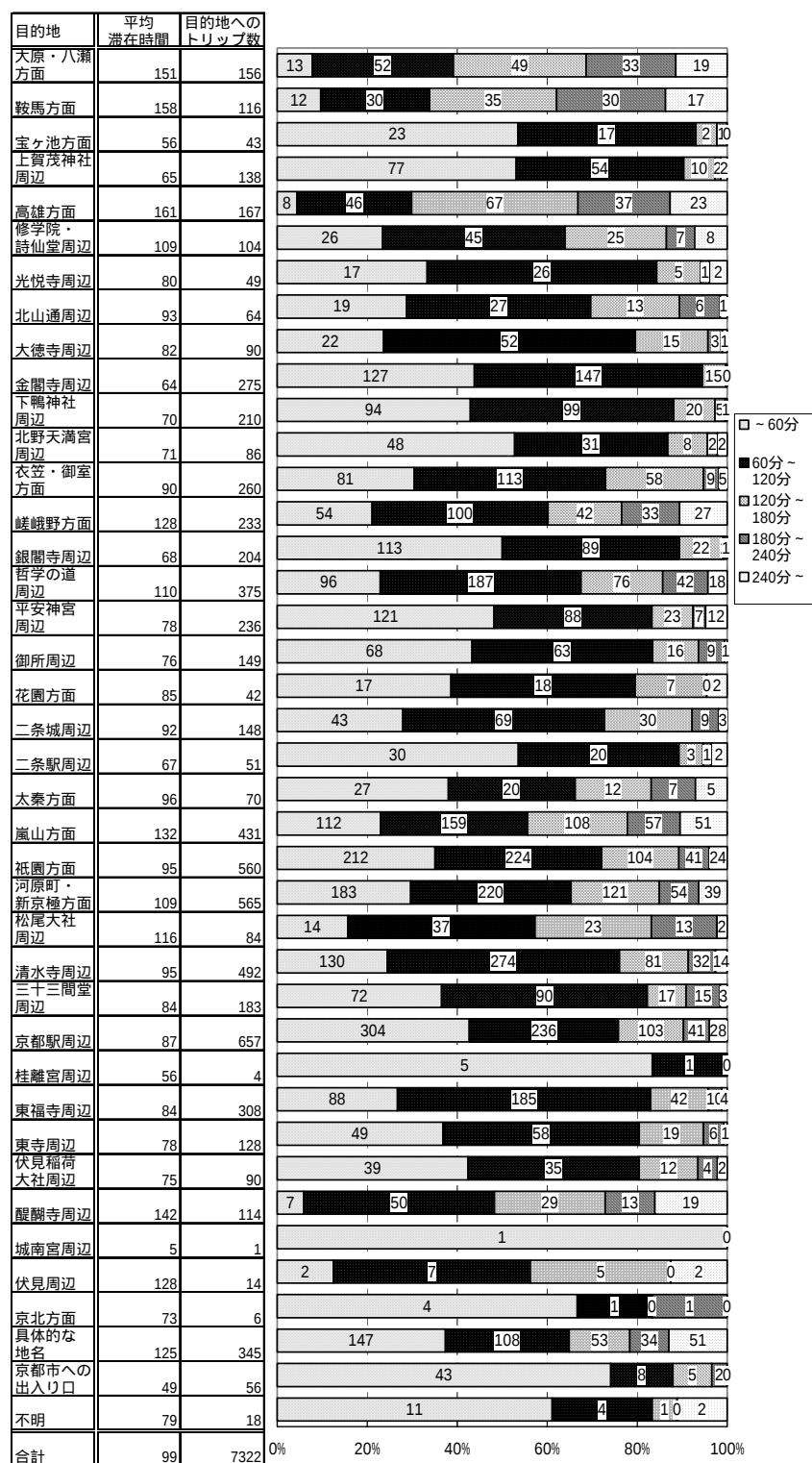


図 2-4 4 滞在時間分布

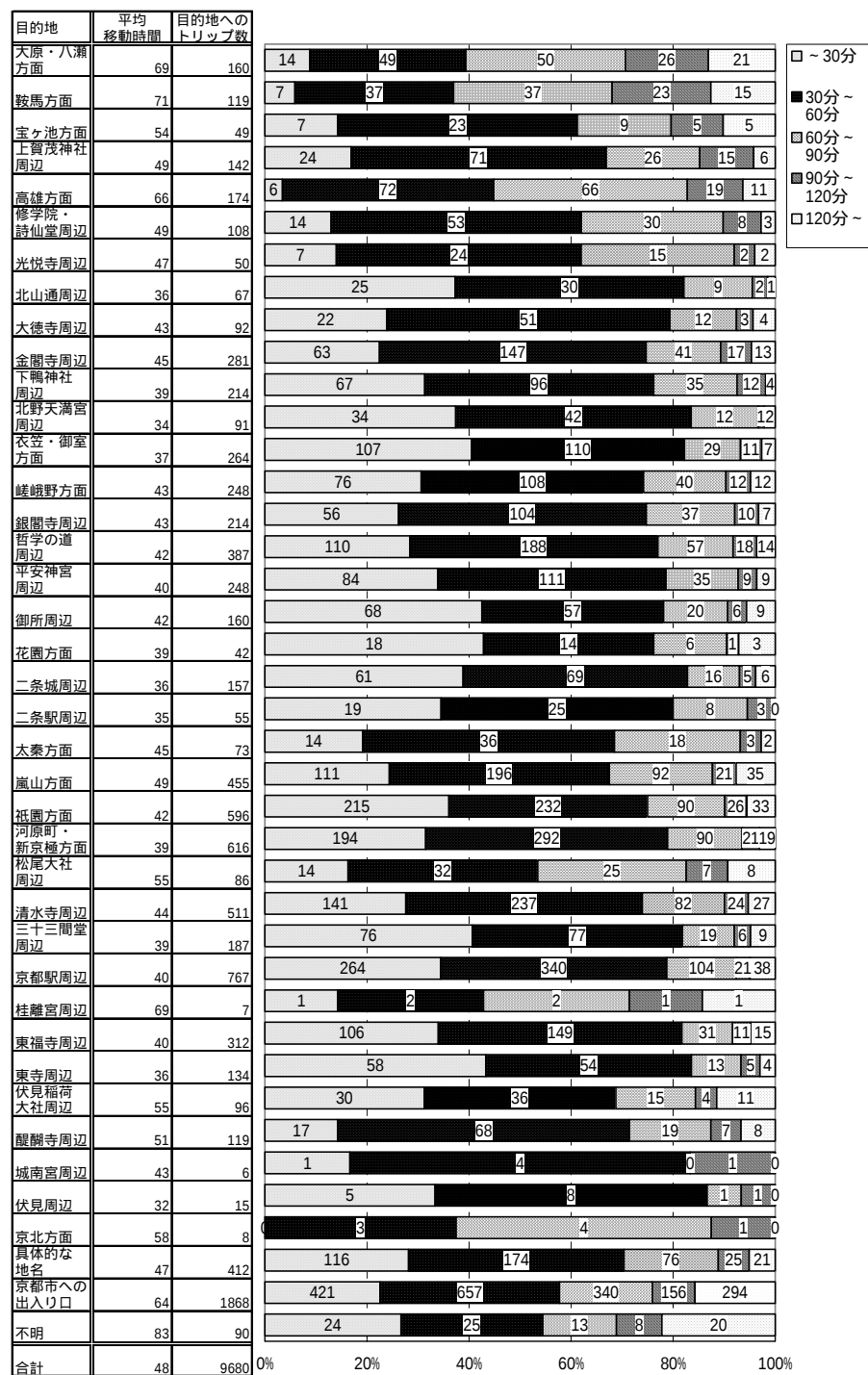


図 2-45 観光地への移動時間分布

訪問経験が少ないほど滞在時間，移動時間とも多い傾向がある。「1年で4回以上」では，「今回が初めて」より，滞在時間，移動時間ともおよそ30分短い。

また，1日の観光に占める総滞在時間と総移動時間（京都市までと，京都市からの移動時間は除く）を比較すると滞在時間を移動時間が上回るグループも多い。

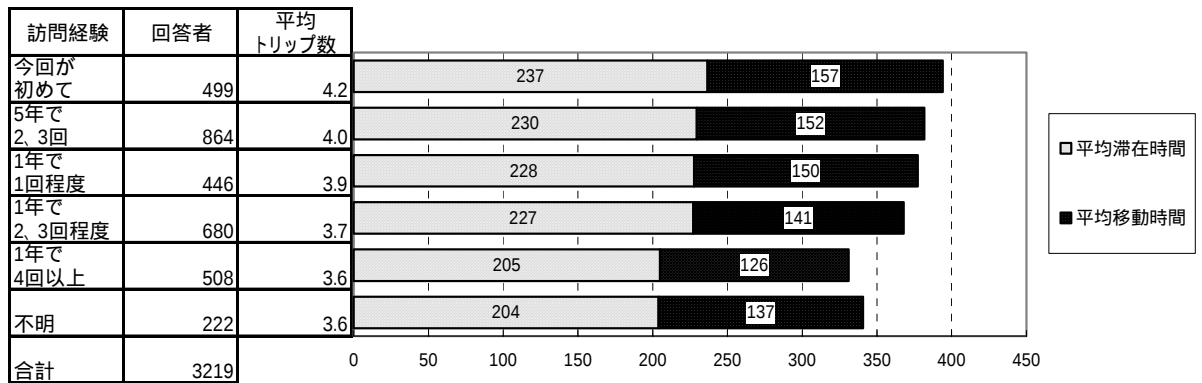


図 2-46 京都への訪問経験別の滞在時間

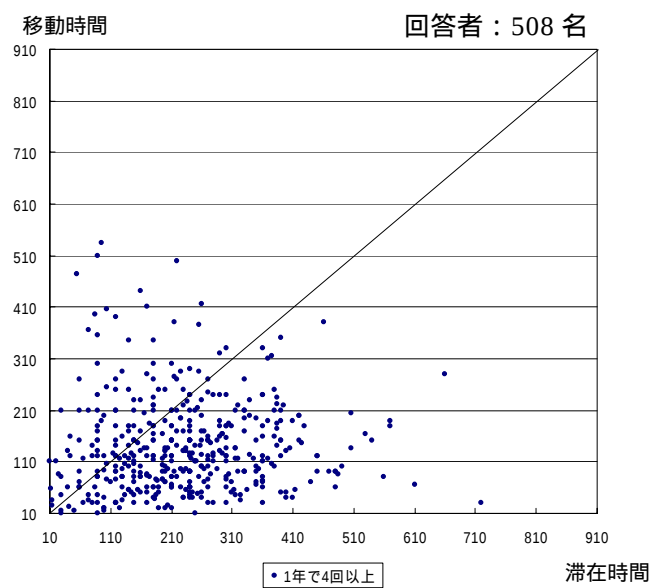
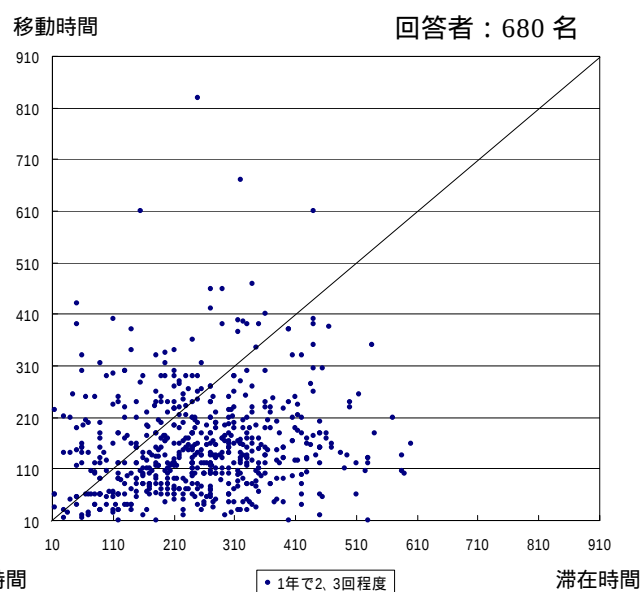
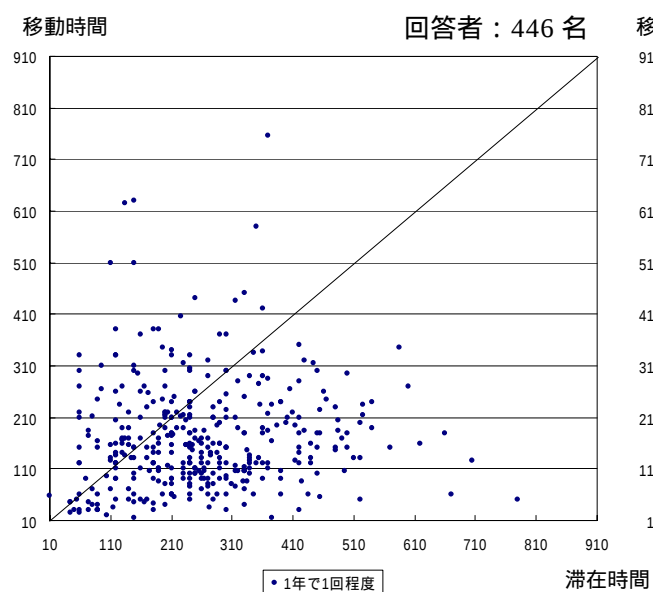
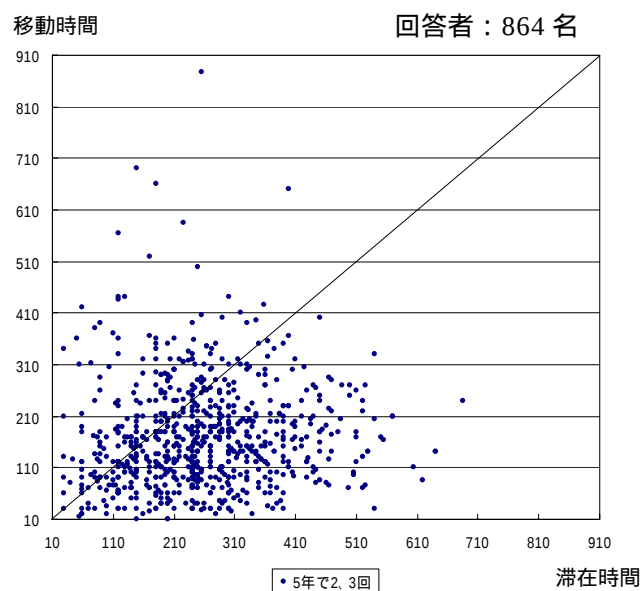
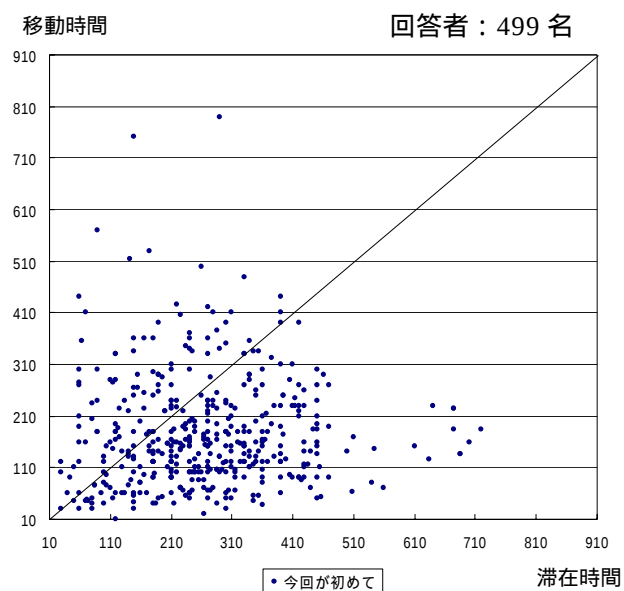


図 2-47 訪問経験別の総滞在時間と総移動時間

b 消費行動

1人当たりの飲食費と土産物代の平均は、それぞれ約3300円、3600円であり、グループ属性別では飲食費は「団体」が、土産物代は「家族・親戚」が最も多い。一方、「ひとりで」では、消費額が少なく、特に飲食費でその傾向が顕著である。

職業別では、「会社役員」の消費が多く、「学生」が少ない。

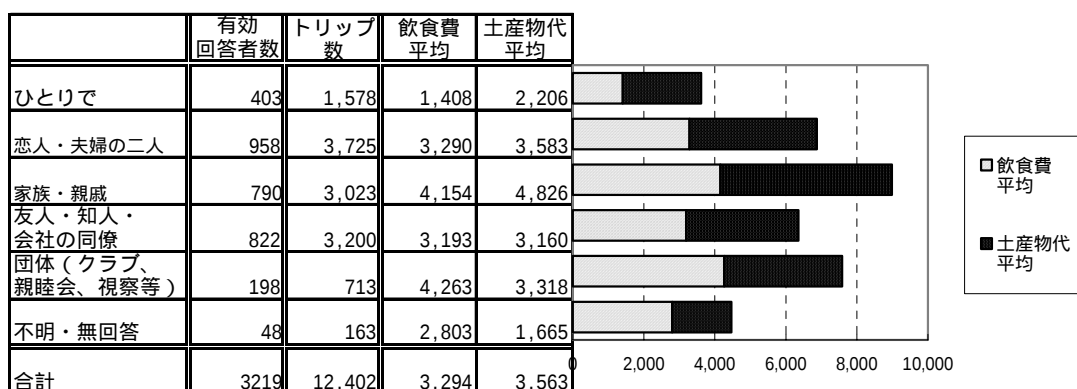


図 2-48 グループ属性×1人当たりの消費額

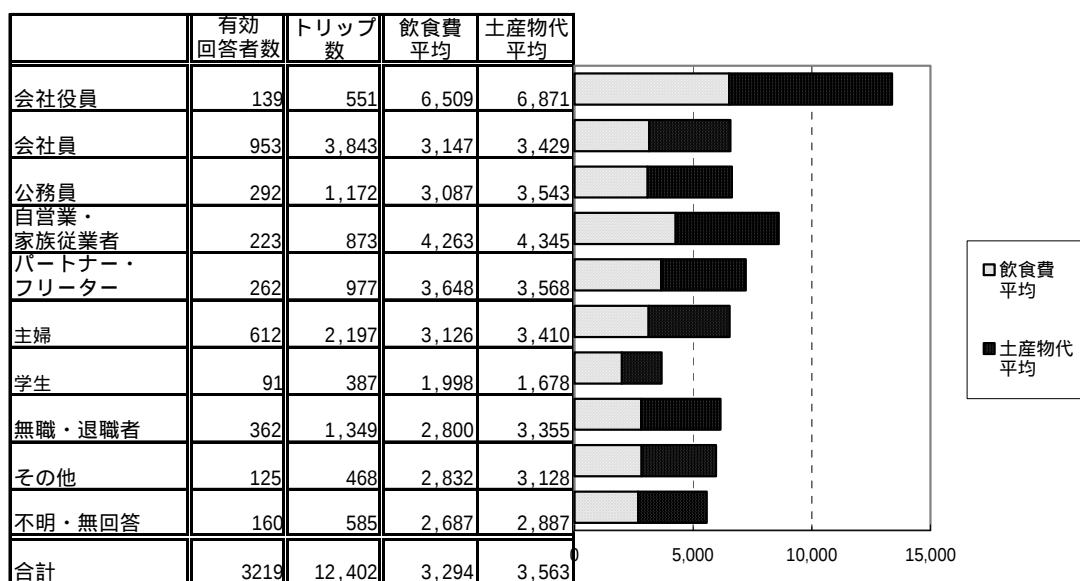


図 2-49 職業×1人当たりの消費額

「具体的には決めていなかったが、たくさん使ってもよいと思っていた」の消費が抜きん出て多く、次いで「具体的に決めていた」、「お金の上限だけ決めていた」が多い。また、「まったく考えていなかった」が少ないのが特徴的である。

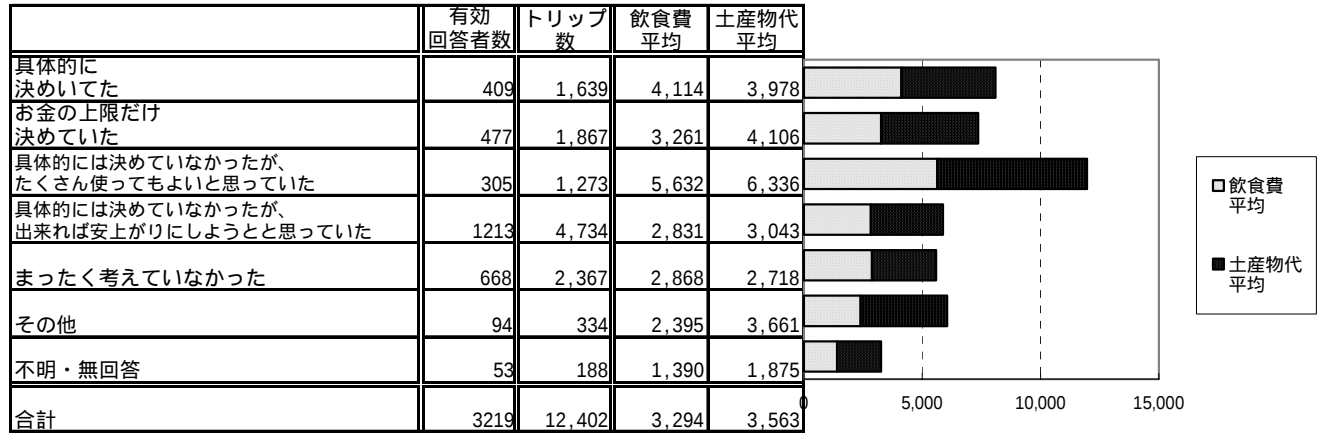


図 2-50 職業×1人当たりの消費額

立ち寄り場所別では、「河原町・新京極周辺」で最も多く、次に「京都駅周辺」、「嵐山方面」、「祇園方面」が多い。

「京都駅周辺」では土産物代が多いのに対し、「嵐山方面」、「祇園方面」では飲食費が多いのが特徴的である。

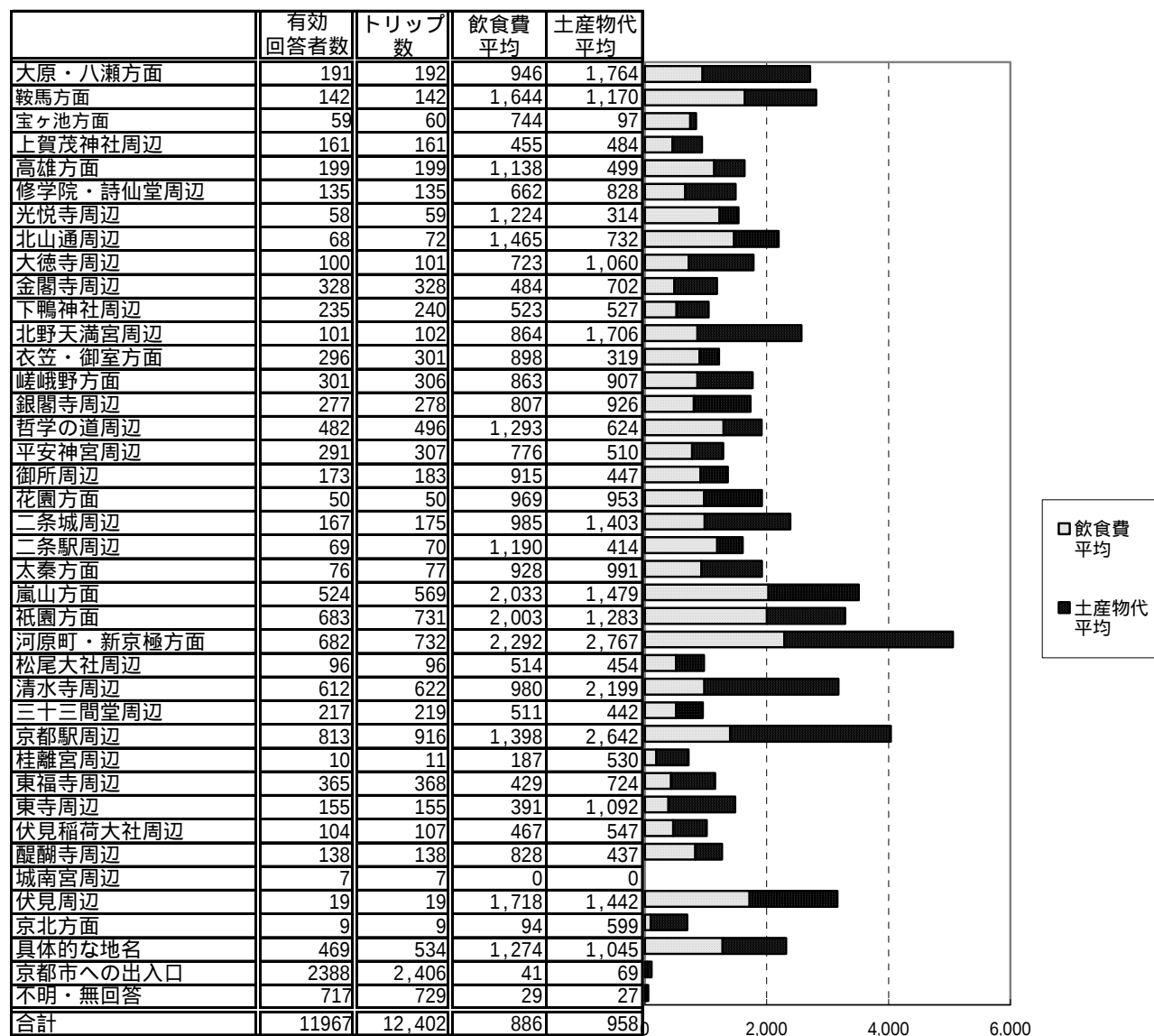
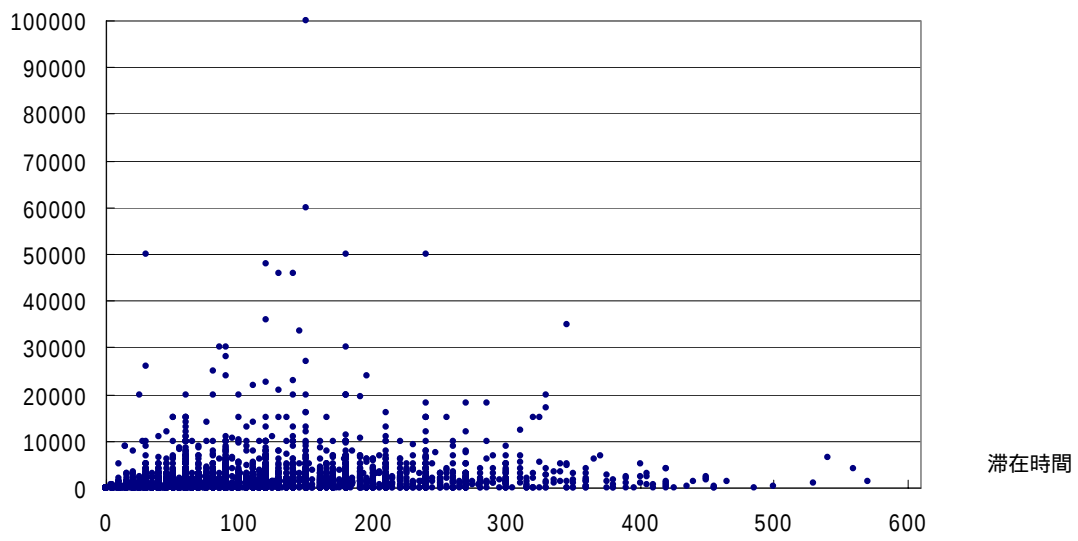


図 2-5 1 立ち寄り場所×1人当たりの消費額

滞在時間と飲食費や土産物代には強い相関はない。

飲食費



飲食費

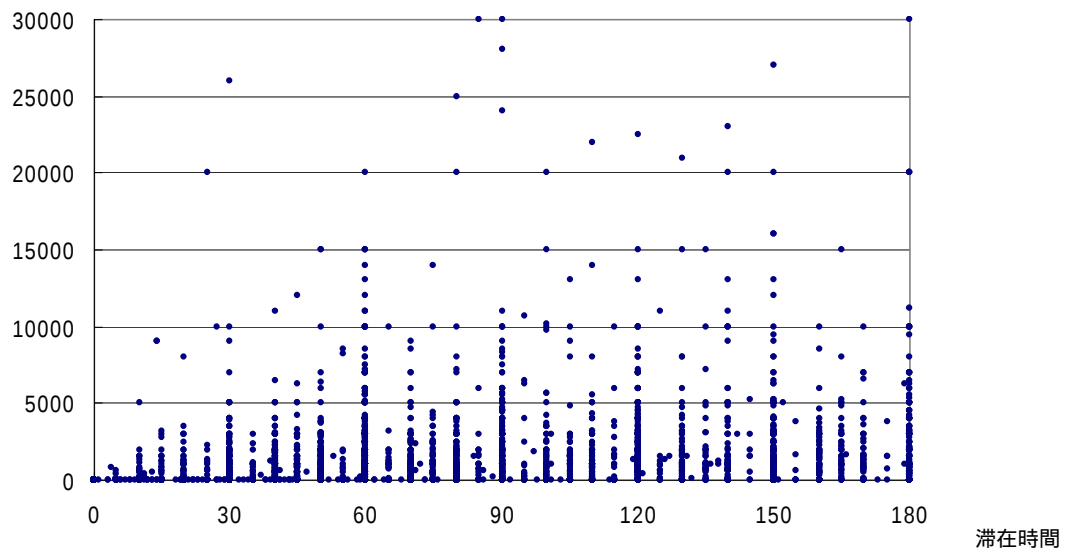


図 2-5 2 滞在時間×1人当たりの飲食費

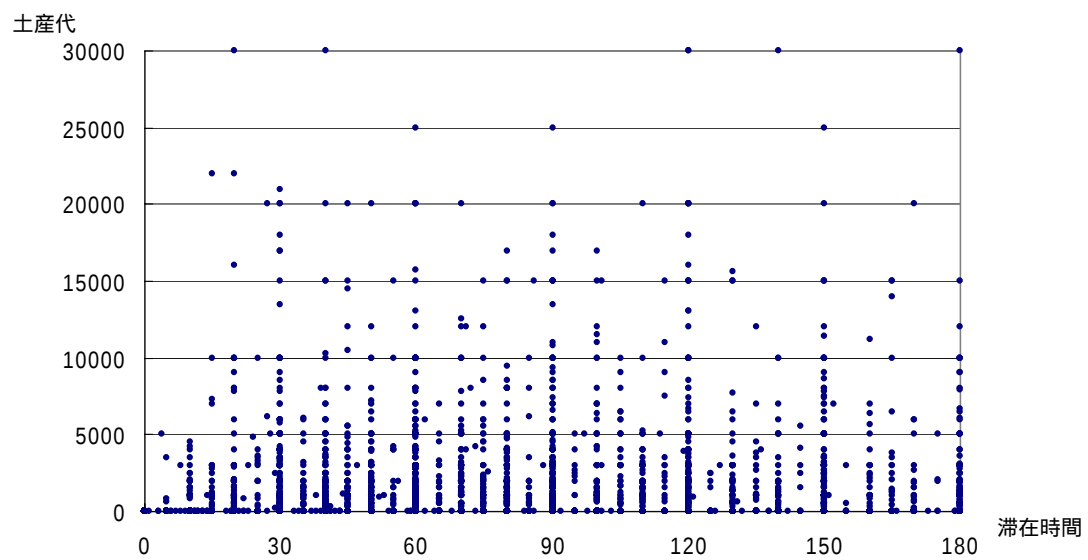
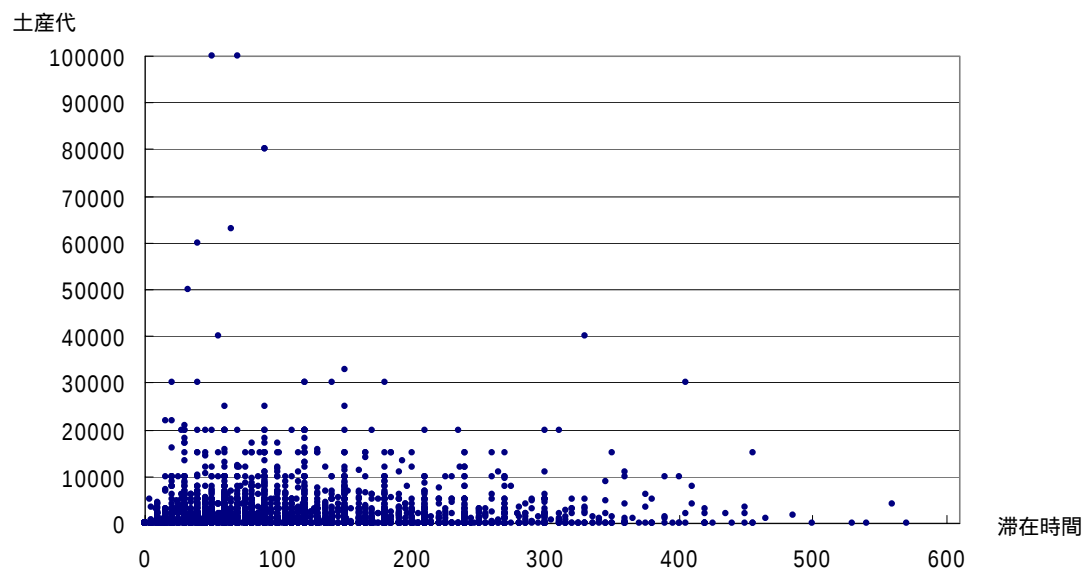


図 2-5 3 滞在時間×1人当たりの土産代

(I) 利用交通手段と不満点

問 13 . 本日の観光で利用された交通手段についてお尋ねします。

a 利用交通手段

「徒歩」を除くと,「市バス」(19%),「タクシー・ハイヤー」(11%)の利用が多く,
「自家用車」の利用は6%である。

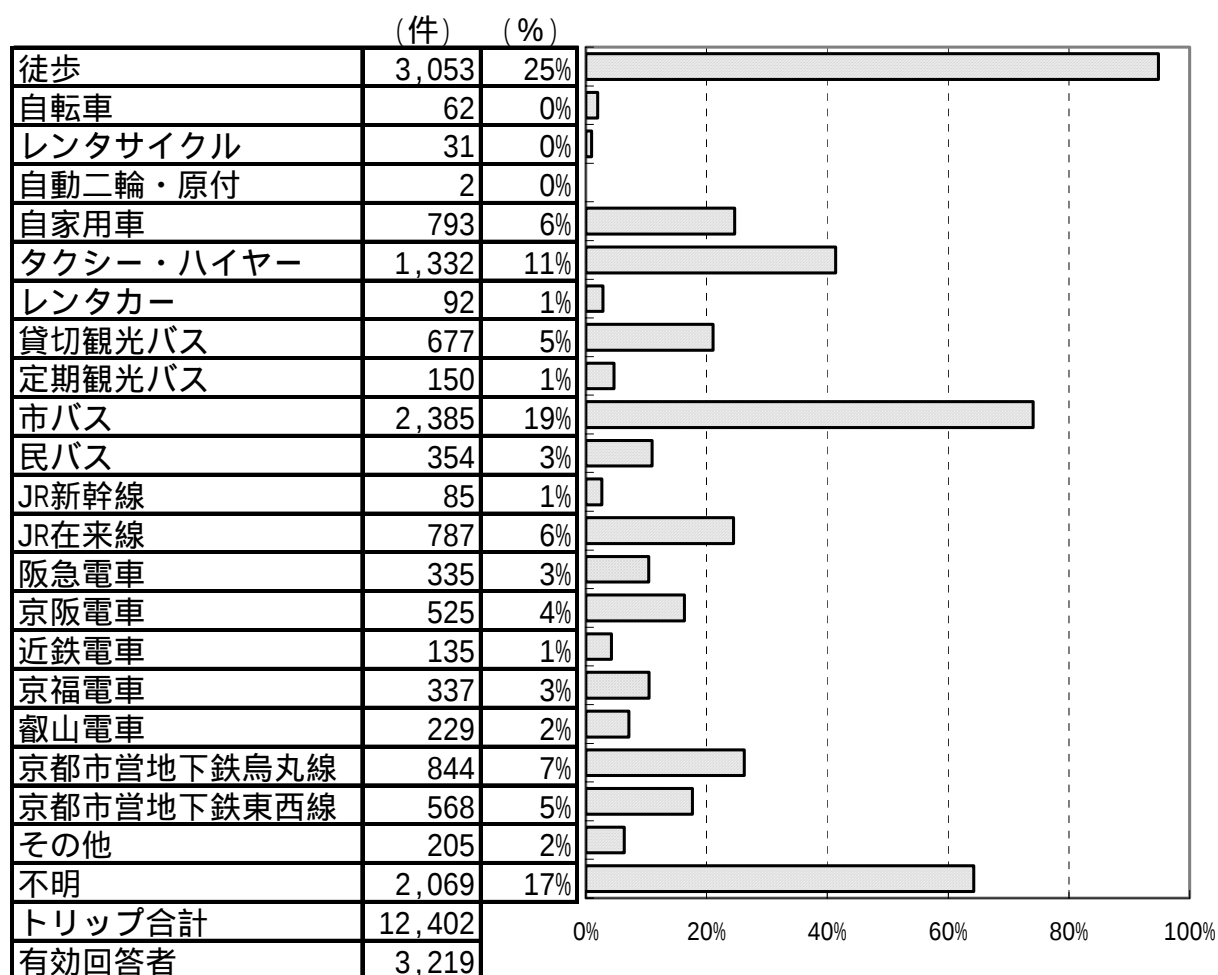


図 2-5 4 利用交通手段(複数回答)

「自動車・レンタカー」の利用が多いのは、「大原・八幡方面」、「上賀茂神社周辺」、「松尾大社周辺」、「桂離宮周辺」等の郊外に位置する観光地である。

「市バス、民バス」の利用は、「光悦寺周辺」、「大徳寺周辺」、「金額時周辺」、「北野天満宮周辺」等の京都市北西部に位置する観光地で多い。

「地下鉄」は、「宝ヶ池方面」、「北山通周辺」、「御所周辺」、「醍醐寺周辺」で多い。

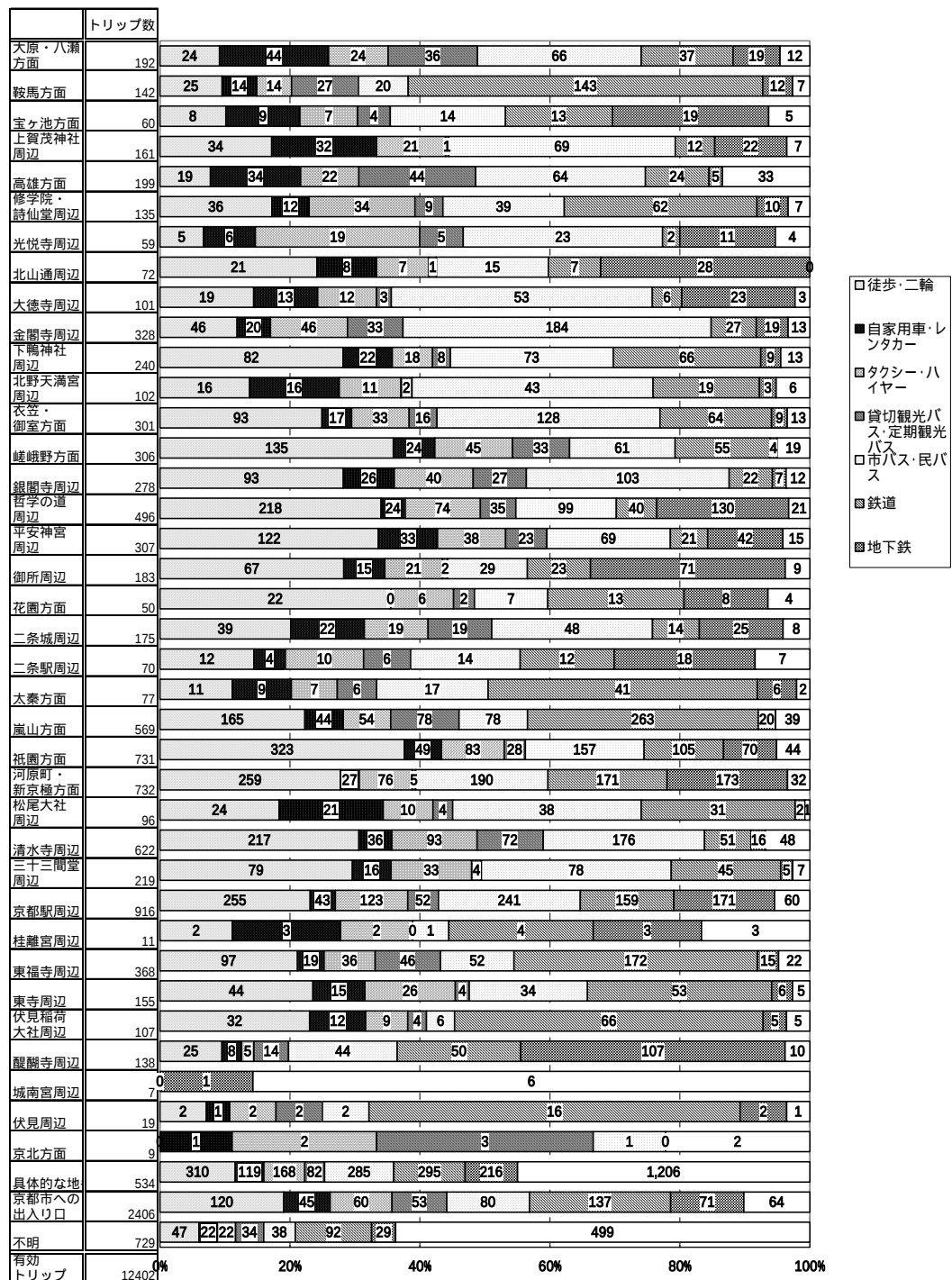
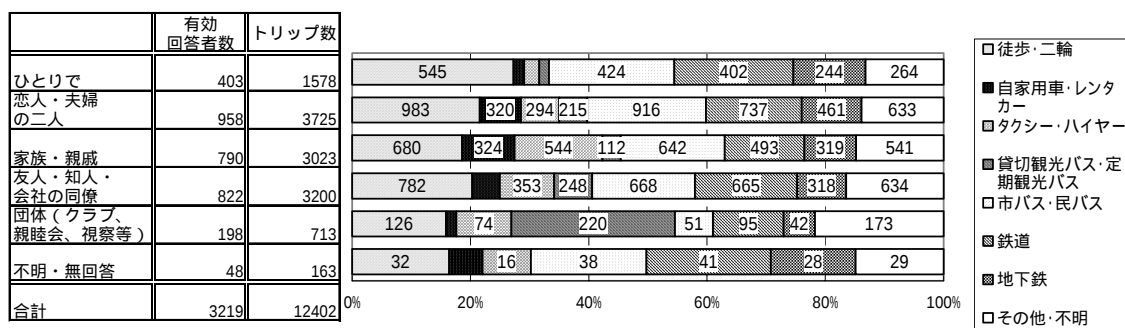
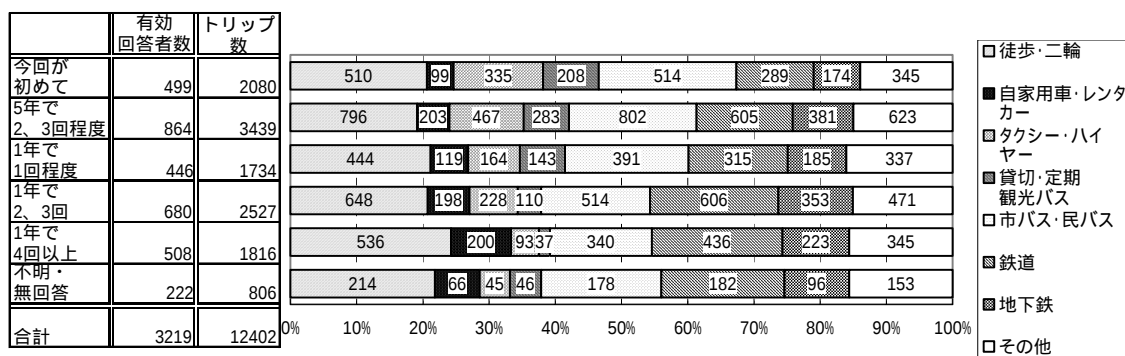


図 2-55 立ち寄り場所別の利用交通手段(複数回答)

訪問頻度が多いほど「自家用車・レンタカー」と「鉄道」、「地下鉄」の利用が多く、頻度が少ないほど「タクシー・ハイヤー」、「市バス・民バス」の利用が多い傾向がある。

グループ属性別では「家族・親戚」では「タクシー・ハイヤー」や「自家用車・レンタカー」等の自動車系の利用が多く、「ひとりで」では公共交通の利用が多い。また、「団体」では「貸切観光バス・定期観光バス」の利用が非常に高いシェアを占めるのが特徴的である。



b 交通手段の不満点

自動車で不満が多い。特に「道路が混雑」への不満が突出して多く(69%)、「道路が狭い」(29%)、「駐車場がない・場所や入口がわかりにくい」(31%)、「目的地への経路がわかりにくい」(23%)といった不満も多い。

バスでは、「道路が混雑」(21%)、「バス車内が混雑」(21%)といった観光客の集中に起因する不満が多い。また、鉄道に対する不満点は総じて少い。

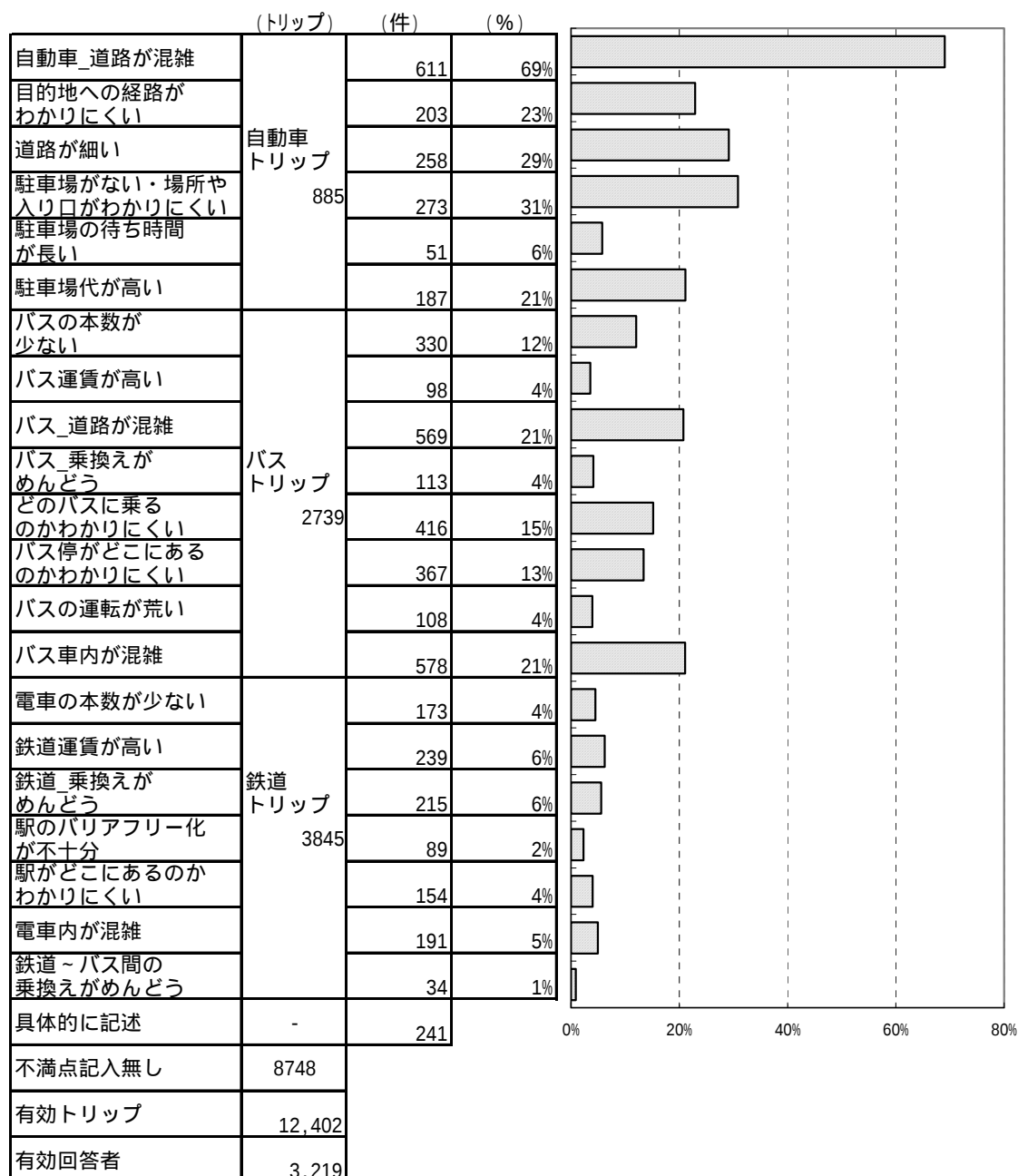


図 2-58 利用交通手段の不満(複数回答)

不満が挙げられた数では、利用者が多いことからバスに関するものが多い。目的地別の不満数は、「京都駅」、「清水寺周辺」、「河原町・新京極」、「嵐山方面」、「祇園方面」への移動に対する不満が多い。

また、「金閣寺周辺」への移動で、バスへの不満が多く挙げられている。

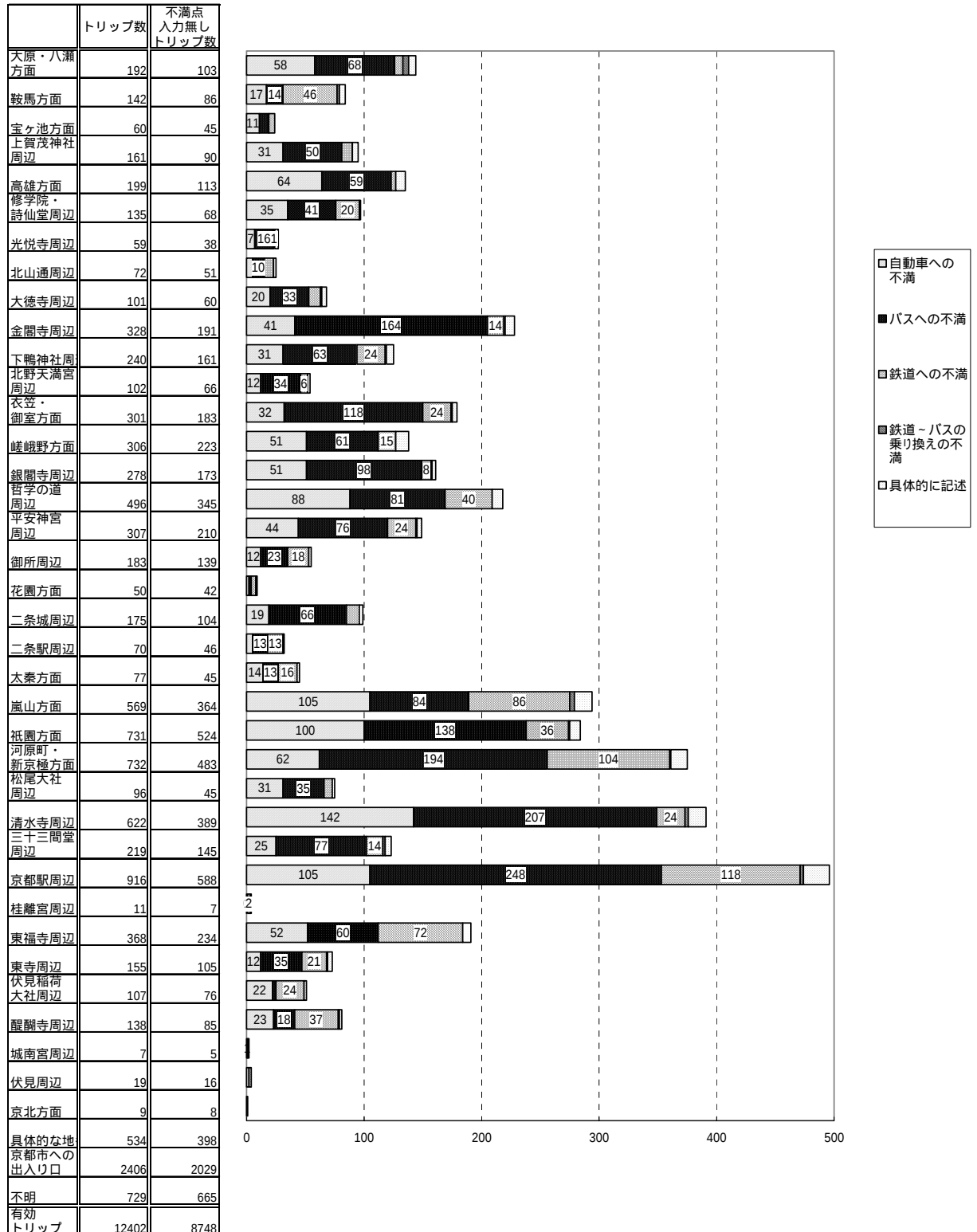


図 2-59 目的地別の利用交通手段に対する不満 (複数回答)

(オ) 京都観光の出口

問 14 . 本日の宿泊地または京都市からの出口と到着時刻についてお尋ねします。

「JR 京都駅（新幹線）」(20%) , 「京都市内の宿泊施設」(11%) , 「JR 京都駅（在来線）」(10%) , 「名神京都南インター」(5%) , 「名神京都東インター」(4%) が多い。これは入口とほぼ同様の傾向であるが、配布日が日曜日であったことから「京都市内の宿泊施設」は出口の方が少ない。

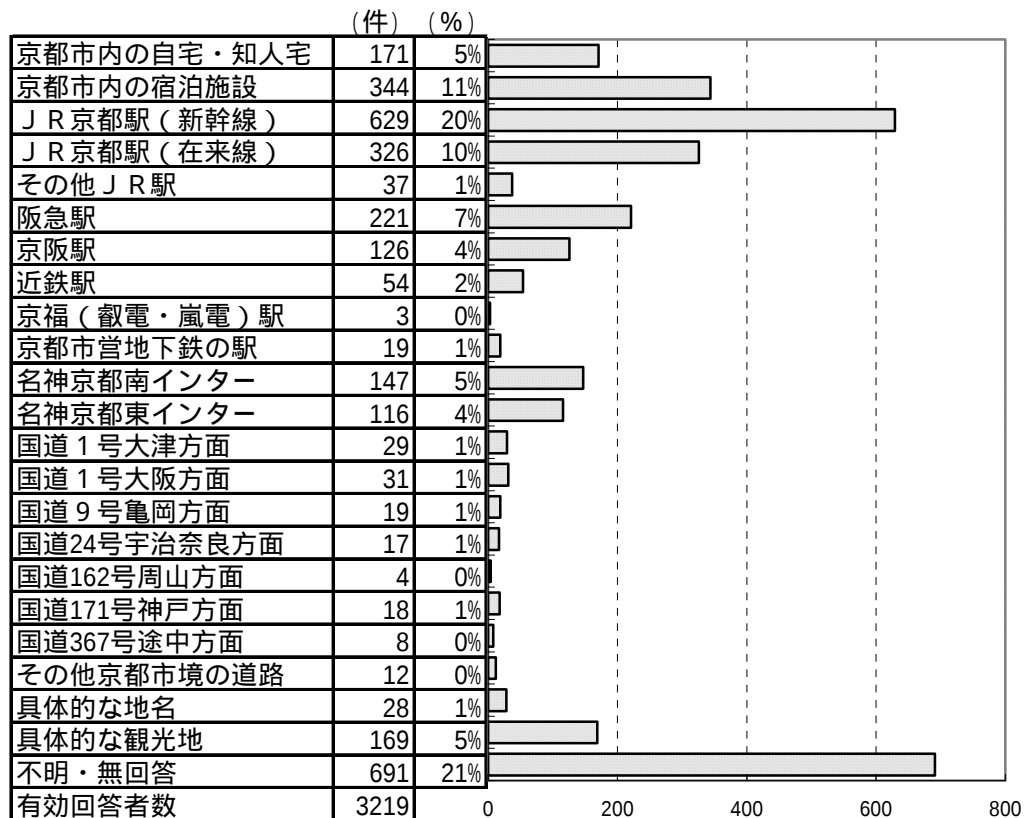


図 2-60 京都観光の出口

カ 今回の京都観光の感想

(ア) 満足度

問 15 . 京都市の観光に対する満足度はいかがでしたか。

京都観光全体に対する満足度は、「非常に満足」(9%) + 「かなり満足」(37%) , 「やや満足」(39%) を合わせると 86%に上るが、項目別では、総じて観光資源に対する満足度が高く、交通に対する満足度が低い傾向にある。

「古都の観光施設」, 「京都の自然」に対する満足度が特に高く、一方、「駐車場の利用」, 「自動車での移動しやすさ」など自動車交通に関する不満が特に多い。

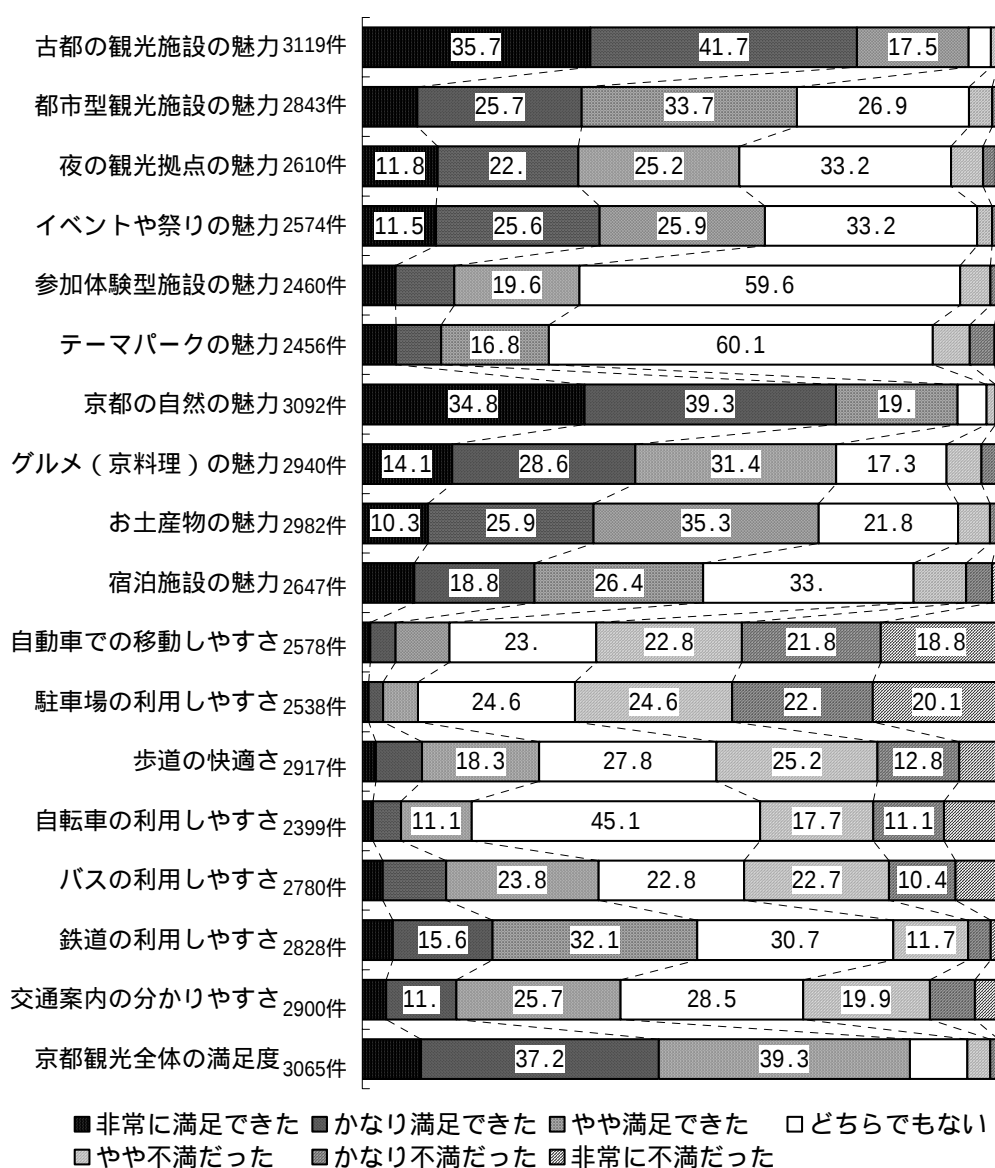


図 2-61 京都観光の満足度

(イ) 最も不満な項目

副問 1. 上記の 1～17 の項目の中で、最も不満だった項目の番号を 1 つ選び、出来れば不満だった点を具体的にお答えください。

最も不満だったものとしては、「歩道の快適さ」(21.5%)、「バスの利用しやすさ」(20.3%)、「自動車での移動しやすさ」(15.7%)、「駐車場の利用しやすさ」(10.9%)が多く挙げられている。

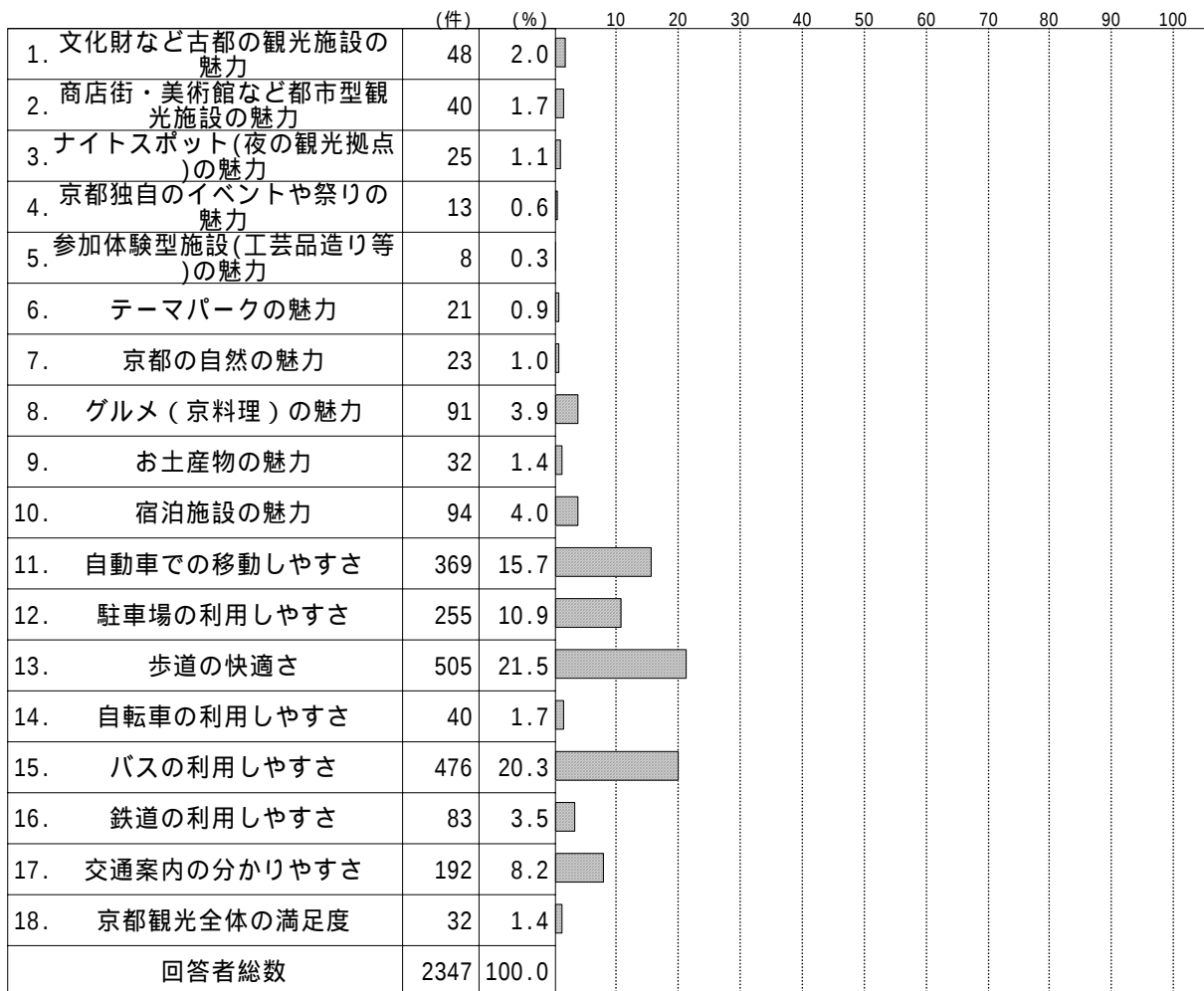


図 2-62 最も不満だった項目

(ウ) 希望する観光交通施策

問 16 . 京都市の観光を快適にするために , 積極的に実施したほうがよいと思われる交通施策を 3 つ以内でお選びください。

希望する交通施策としては , 「歩道を快適にする」(37.7%) , 「バスを利用しやすくする」(38.3%) , 「フリーチケットを充実させる」(36.1%) , 「自動車を規制する」(29.3%) が多い。

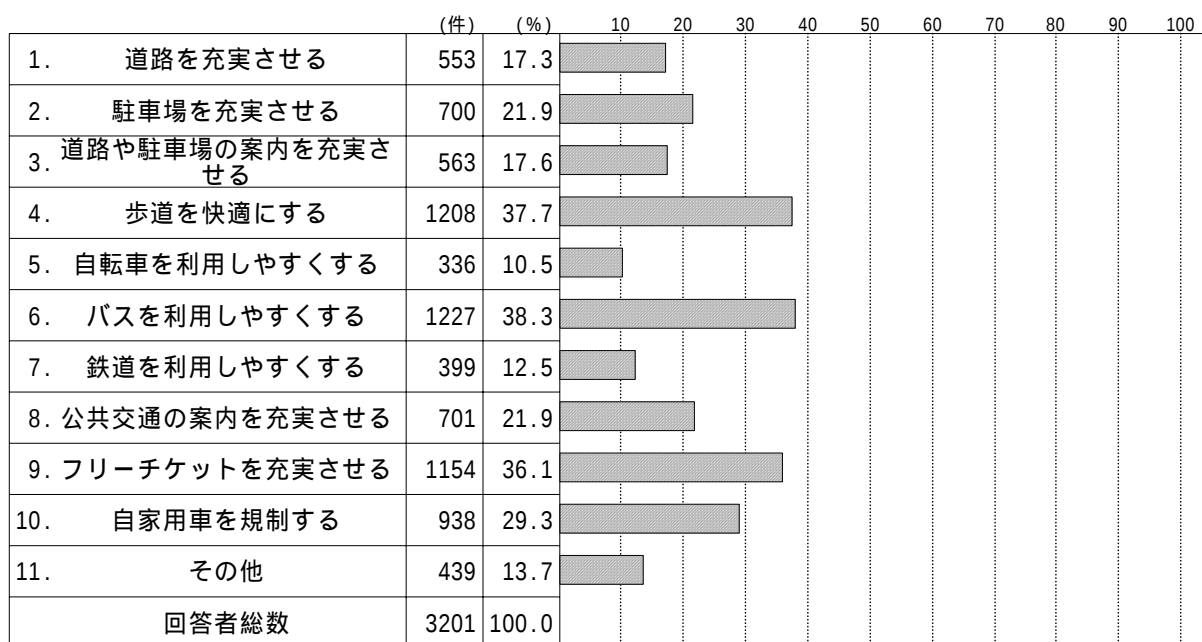


図 2-63 希望する交通施策

(I) 公共交通フリーチケット

問 17 . 京都市では , 市バス・京都バス・地下鉄などを自由に乗れる「市バス専用一日乗車券カード」「市営地下鉄 1DAY フリーチケット」「京都観光一日・二日乗車券」の乗り放題チケットが発売されていますが , 本日はこれらを利用されましたか。

「利用した」が 19.8% , 「知らなかった」が 28.6% , 「知っていたが , 利用しなかった」が 43.1%である。

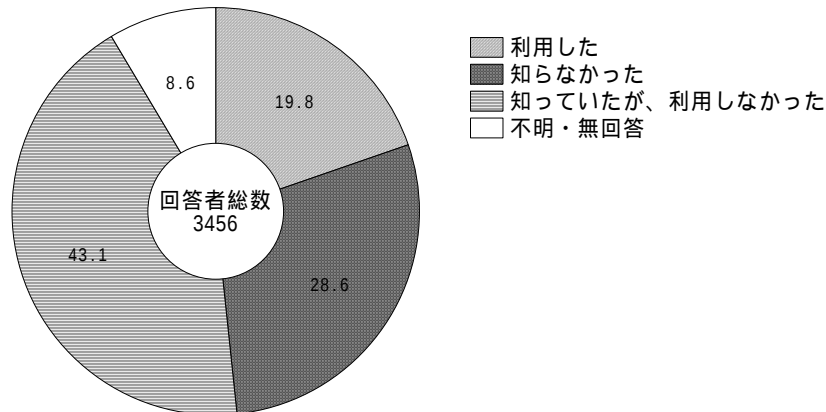


図 2-64 フリーチケットの利用状況

副問 1 . 利用しなかった理由を全てお選び下さい。

フリーチケットを利用しなかった理由は , 「あまり広範囲を移動しないから」(54.4%) が最も多いが , 「買い方がよくわからなかった」(6.2%) といった運用上の問題も挙げられている。

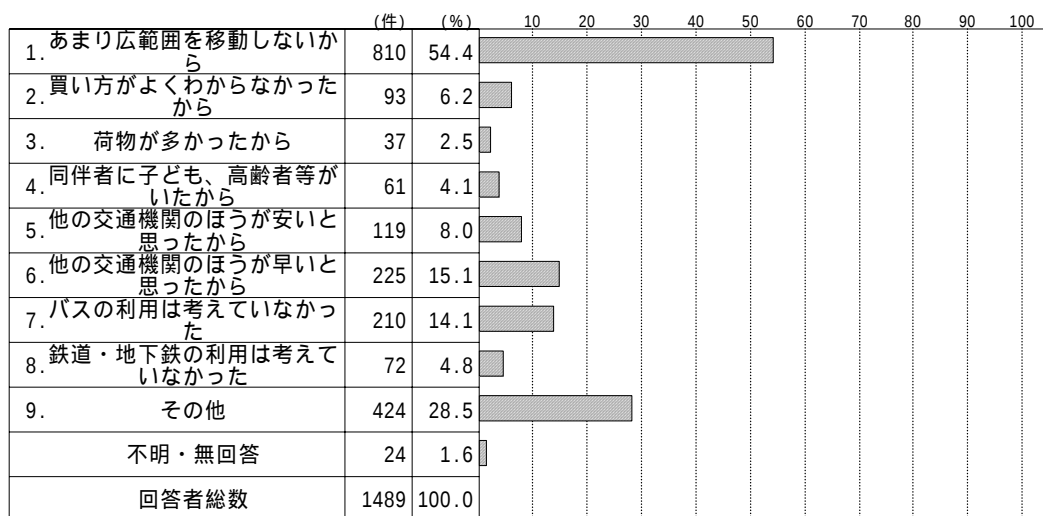


図 2-65 フリーチケットを利用しない理由

(オ) パークアンドライド

問 18 . 京都市では , パークアンドライドを実施していますが , 本日はパークアンドライド駐車場を利用されましたか。

P&R を「利用した」は約 1%と非常に少なく , 「知らなかった」(56.7%) が半数以上を占める。

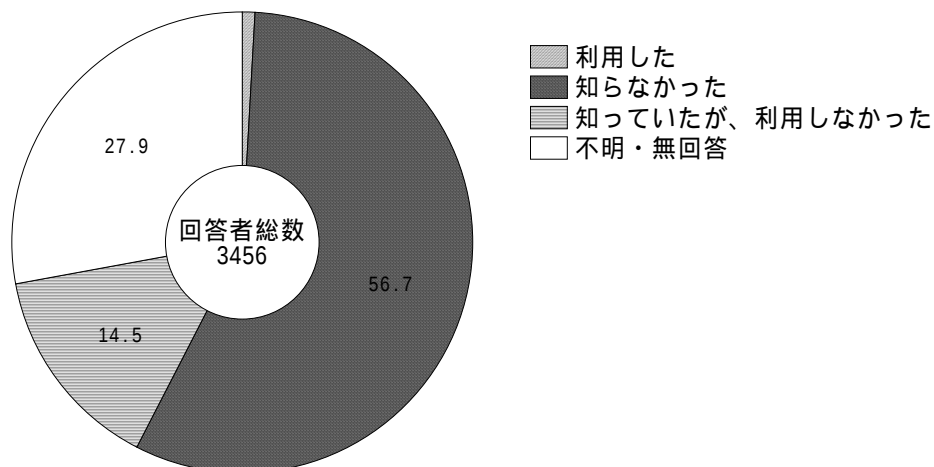


図 2-6 6 パークアンドライドの利用状況

副問 1 . もしもパークアンドライドのことを知っていたら , 利用したと思いますか。

P&R を「知らなかった」のうち , 「知っていたら利用した」が 23.6%を占める。

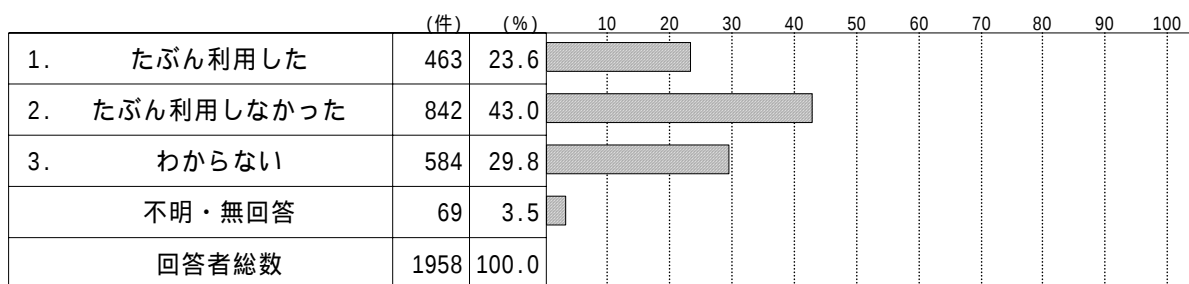


図 2-6 7 パークアンドライドの利用意向

(カ) 京都への再来訪意向

問 19 . また京都へ観光に来ようと思われますか。

「ぜひ来たい」(68.4%) , 「出来れば来たい」(20.0%) をあわせると 88.4% となるが , 「あまり来たくない」, 「来たくない」も若干であるがみられる。

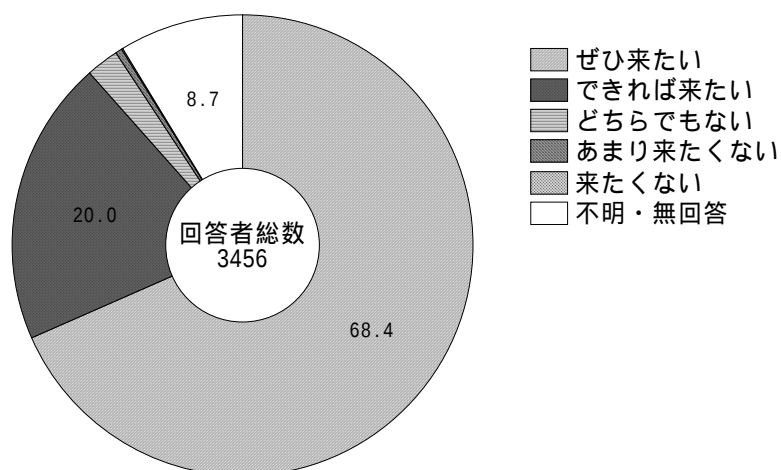


図 2-68 京都への再来訪意向[^]